

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-38)、
廃棄物管理施設(14)、MOX燃料加工施設(2-8))」

2. 日時：令和5年3月10日(金) 10時30分～11時05分
13時30分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨
安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他23名

中部電力株式会社 原子力本部 原子燃料サイクル部

サイクル戦略グループ課長

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「第2回設工認申請書の不備について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年
12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年3月8日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和5年3月9日

「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:08	本日のヒアリングは、令和4年の12月、及び、令和5年2月に申請があった、再処理、廃棄物管理、MOXの設工認申請について、
0:00:19	事実確認を行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側の出席者ですが、本庁側からコサクタカナシフジワラ。
0:00:29	タジリシミズタケダ。
0:00:32	ウェブからの参加がカミデオオハシオオオカキシノ。
0:00:37	非常になります。
0:00:39	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの担当について紹介していただいた上で本日の説明範囲達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:53	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	まず、再処理側の事務局から、サトウ、
0:01:04	赤は新、
0:01:05	セガワ、
0:01:07	フジノナカハマ。
0:01:09	MOX側の事務局で、タニグチイシハラ。
0:01:13	後ですけれども耐震関係で、ミヤモトホシノ、共通12関係でシミズ、
0:01:22	外傷図取りまとめで、Bがエッセイ関係で、タマウチ、
0:01:28	あと申請書不備に対する関係でございますけどこちらでスズキ、
0:01:33	以上参加者となります。
0:01:36	それでは最初にですね、
0:01:40	昨日、ありました不備に対する対応につきまして、スズキの方からご説明を差し上げます。
0:01:49	鈴木です。
0:01:51	まず申請書の不備で昨日いただいたコメントまず雷の1の方なんですけれども、こちらの方、昨日の資料については、対策の前にちょっと、
0:02:01	ファイナル道がありましたので、こちらの方用意最後の要因となったところの前で、対策を打つことで、要因を病院を消すということで、一応、修正してます。

0:02:14	あともう一つ、達成目標の方ですけども、こちらの方はですね事象ごとに分析をして、中でできた共通的な事象ですね問題点。
0:02:24	から、再発防止対策を策定しております。そちらの対策についてですね個別の対策も策定してはありますが、こちらの対策、再発防止対策が、
0:02:36	等についてちょっとご意見をですね、お伺いして、に、双方の認識を統一したいって、目標、それを目標としたいなと思っております。
0:02:46	あと、資料の方ですけども、先ほどの雷の位置を修正したものと、後追い、先ほど達成目標のところですね、こちらの方を、
0:02:56	記載しましたパワーポイント1枚をですね、追加して、先ほど資料の方を提出しております。以上です。
0:03:06	規制庁武田です。はい。説明ありがとうございます。ただいまの説明につきまして規制庁側から確認あればお願いします。
0:03:17	規制庁カミデです。中身については後ヒアリングで聞きますけど、
0:03:23	ヒアリングでどういう話がしたいですかという機能の問いに対しては、大差食うについて所感なりを聞ければなあみたいな感じでしたけど、対策10個とか、
0:03:36	ありますけどそれぞれぞれなのか、
0:03:39	何か1枚目にパフォがパーフォの表のようなものが増えてますが、とにかく、まずはこの話ということなのかという考えです。
0:03:51	いや、スズキで、
0:03:55	そうですね、前住所共通の問題点のところ、今回の事象カラーン
0:04:01	分析すると、資料のチェックを実施していない、形式的なチェックになったってところ。
0:04:08	をですね、対策を見てるんでそこを確認について意見を賜りたいと思っております。
0:04:14	以上です。
0:04:16	1 規制庁カミデです。で、
0:04:19	今回、当会合で、この話も聞こうとは思ってますけど、介護で説明するのもチェックをちゃんとしてなかったってところ。
0:04:31	が、とにかく共通的な要因なので、素行、
0:04:36	話が、話をしたいということですか。
0:04:42	兵庫県の都築です。その通りでございます。
0:04:46	はい。規制庁神です。

0:04:49	大体はわかりました。
0:04:51	ちなみに、
0:04:52	あとは中身、部署、今後聞きますけど、ちなみに、パワポの表ついてるじゃないですかで資料出し直されてますけど、なんでそういうことになったんですか。
0:05:06	兵庫県の鈴木でございます。さっき昨日の資料ヒアリングの時にですね、良い分析にだけをつけて、何が査定も何を説明したのかわからないということで、
0:05:21	言葉で話したところですね1枚ものにして、そこんところを
0:05:25	共通に議論したいなというところで、意見を伺いたいということで1枚を追加しました。
0:05:32	以上です。
0:05:33	規制庁カミデです。
0:05:36	あの日、
0:05:37	追加されたページを見ても何を話しをしたいのかは書いてないと私は思うんですけど、原燃の中ではこれで、
0:05:47	話をしたいことがちゃんとまとめられてるんでっていう判断なんですか。
0:05:56	日本原燃佐藤です。すいませんそういった意味ではここをご議論したいといったところまで明確に書かれてないと思います。単に後のフィーズをまとめたり過ぎないと思ってます。すいません。
0:06:09	ただその関連のところをしっかりちょっとご説明してご意見を伺いたいといった趣旨でちょっと使わせていただきましたので、この辺りちょっともう一度昼のですね、ヒアリングの時にちょっとご説明させていただこうと思います。
0:06:23	やはり、規制庁カミデす
0:06:26	目的等会合にあたってはこんな感じでっていう話であれば、とりあえずそういうことなのかなという気もしますけど。
0:06:37	いずれにしても二、三日前に最初の資料が出てきてで、また直前になって、新しくまた資料が出てきて、なるとこちらもちょっと確認の手間があって、

0:06:50	なので、そういうことがないようにあらかじめアサカイがあって、どんな資料にどんなことを書いたものを出せばいいのかっていうのは認識を合わせていくはずなのでそうならないよ。
0:07:03	今後気をつけてもらえたと。
0:07:05	私からは以上です。
0:07:09	はい、佐藤です。はい承知しましたもうちょっと前よりとご相談すればよかったと思っております。
0:07:17	本件につきましてその他規制庁側からございますでしょうか。
0:07:24	よろしいでしょうか。それでは本件につきまして、原燃から振り返りをお願いします。
0:07:39	4件でございます。
0:07:41	今日ですね、江藤、浦上阿比留と、
0:07:47	社内で確認してやりたいと思います。以上です。
0:07:54	はい。規制庁竹田です。ありがとうございます。今の説明でコメントはございますでしょうか。
0:08:02	はい。
0:08:02	よろしければ、次の議題について、委員、元の方から説明をお願いします。
0:08:10	はい。日本原燃の古谷です。スケジュール関係について幾つかあります。昨日スケジュールの話もさせていただいた、来ましたのでそれに伴いましてスケジュールの方見直しいたしまして、
0:08:24	資金の対応スケジュール等あと詳細スケジュールに展開できるものがございますのでそちらに詳細スケジュールにも展開して、本日提出したいなと考えておりました。
0:08:34	あとちょっと全体の調整の中で謝らなければというのが一つありまして重大事項のヒアリングの調整ちょっと、
0:08:42	私の方でちょっと遅れてしまって14日にちょっと設定しようとしたものが、時間がなくて、15だったり16だったりっていう調整させてしまっていて非常に申し訳ありませんでした。ちょっと
0:08:53	もう少し早めに資料提出だったり準備動けるように心がけたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:08:59	あと溢水関係、ちょっと
0:09:02	エビナの方から、はい。

0:09:08	えーと、
0:09:09	うん。昨日のスケジュールの中で、本です。
0:09:14	お弁当移送の外部の話その後をまとめる。コメントの中にですね、相当今日についても、
0:09:25	個別の方の例えばそのチームの過誤援護であったり、2対カーブルートの雰囲気を設定するものを出せそうです。
0:09:37	で、あとですねなんですが、今年もその対応方針、方法、現実的な生徒像、やはりその褒めて対応する。
0:09:49	殊だ、あれ起こし、
0:09:51	なお再になってない部分が結構散見されましたので、その修正ですね、ちょっとその理事コメントリストの方は、定数が今日ちょっと厳しそうで増えるようになってしまう、遺贈が、
0:10:09	は、映像にならなかったという状況です。はい。以上です。
0:10:13	エンチャーの田尻です。鷲見八木という前回か前々回ぐらいからずっとやってるような気がするんですけど。いやなんか作ってる所なんですけどコメントをもらってちょっとだけ遅れますって言って今10日ぐらい出した気がするんですけど。
0:10:26	今、何をやってる状況なんでしたっけ。
0:10:30	何かチェックを受けたのが、誰か昨日ぐらいまでかかっちゃって、結局遅れてるって話なのか、誰かの方を組んでて決まっていって話なのか何かよくわからないんですけど、何時間かかってんでしたっけ。
0:10:44	はい。4メーターです。基本、ティップーの時点でぜ。
0:10:55	記載は対策をやっていきたいというところがあったので、それを作成した、わかってきたという、それを今以上です。
0:11:09	規制庁、佐治です。中間はよくわからないんでわからないんですけど、資料に書いてないのか、検討が終わってないのかというと、結局どっちですか。
0:11:20	はい、根井直江、企業を、に変えないという表の記載があって、お示していないので、この使用しているものになってございますし、
0:11:33	渡です。であるならばすぐかけんじゃないかという気はしますが、とりあえず状況は終わりましたけど、何かカミデきてるのにかけるだけ時間かかるってことをコメントにしたり、
0:11:44	一切書いてないですよっていう気はしましたということです。

0:11:47	すみませんコサクです。ちょっと正しい君の言い方も、
0:11:51	よくないんですけど、
0:11:55	言いたいことは一緒なんですけど、コメントリスト2書くのに何でそんなに時間かけるんだっていうことなんだと思うんです。
0:12:03	で、昨日
0:12:06	何時でしたっけ、ヒアリングやったの。
0:12:08	5個だったのかな。昨日、
0:12:11	ではあると思うんですけど、話を知ってからささっと書けば、昨日中ぐらいにでも出せる。
0:12:18	ような話だと思ってるんですけど。
0:12:21	ちゃんとしたものを出したいのでレビューはさせてくださいっていうのはわからなくはないですが、
0:12:27	それにしたってって思うんですけどなんで時間かかるんですか。
0:12:33	後メディアス、
0:12:37	そうですね案も、
0:12:39	ていうもしてるんですが、他にそこの方も資料を上げてきてないものがあるんで、
0:12:50	なんかね、修正もやりながらやってるんでちょっと時間かかって申し訳ございません。どうぞ。
0:13:00	えっとコサクです。何か。
0:13:02	話をするたびに違うことを言われるとやっぱりよくわからなくなるんですけど。
0:13:07	先ほどは個別な話が遅れてということは言ってなくて、
0:13:13	方針がちゃんと書けてないのでって言った気がするんですけど、個別のやつがちゃんと書けてなくてって言われる。
0:13:23	でですね、どっちっていう感じが。
0:13:25	してるんですけどあれですか個別のやつに注力しすぎて全体の方針を見るのを失念してましたってことですか。
0:13:38	ペーパーは申し上げて、
0:13:42	飲める人のところを発問の方なんですけども、コメントリストしか言う、野上先生作業方針とか方針という形で、それぞれ変えていくものがあってですね、それ、

0:13:58	そのコメント事で、この別紙として、東端の説明が必要なものっていうのは、勢力以降の映像構成を考えてございました。
0:14:10	本日は、その辺のIT全体と、あとは、存する寝具であったり、あと鉄鋼の責任を気運効率が下ったりとかって、しろと。
0:14:22	橋野シミズんだ、と停止を受けた状態で提出することを考えていたわけですが、その別紙の方も、藤さん戸崎さんにしなきゃいけないですねそちらの方は関野。
0:14:37	レビューをやってましたんで、ちょっとその個別の方から樋口さんで、全体の方の再方針の記載がちょっと遅れてしまったということになっております。以上です。
0:14:50	コサクです一生懸命言われましたけど結局私がさっき質問したことの通りですと言ったような気がしますけどそれでいいですかね。
0:15:00	はい。1、どうぞ。
0:15:05	小坂です。
0:15:10	古作ですけど、
0:15:13	基本的な作業の仕方というこ等の問題点だと思います。
0:15:19	一つのもの2注力して全体の進みを考えずに作業を始めてしまったと。
0:15:27	いう問題点で、そういうことがないように意識合わせをしていこうというこ等でもあるん。
0:15:36	ですよ。
0:15:38	国井個別に集中しすぎて全体像をまとめようとしてなかったということで、昨日、
0:15:47	コメントをしたと。
0:15:48	いう古藤農着手がちゃんとできない。
0:15:53	ていうのは非常に問題だと思うんですけどどういうふうに受けとめてますか。
0:16:02	日本原燃、
0:16:05	はい。全体の方の大方針で1時間かかったので、
0:16:20	ペーパー、見積もりのあったかなと思い。以上です。
0:16:25	すいませんコサクです。ちょっと音声のその通信状態がいまいちよくなくて聞き取れなかったんですけど。
0:16:33	計画見積もりの甘さという最後の言葉だけ聞こえたんですが、

0:16:40	見積もりって何かって言うと、担当に任せておいてもちゃんと書けるだろうと思ってたっていうことですかね。
0:16:50	いえ、冷遇のですね、10 数年あるんですけども、一つ、10 分ぐらいかけて、ちょっとわからないだろうとは思ったんですけど、
0:17:04	結構、地盤があって言ったらあっていうところで、
0:17:11	古作です。
0:17:14	蝦名さん、すいませんけどマイク、近くにしていますかね。
0:17:20	ちょっとあの通信がうまく、
0:17:22	音が拾えてないんですけど、
0:17:25	レビューに十分済むと思ったけど時間がかかったって言われたような気がするんですが、
0:17:32	それであればレビュー終わってるんだから出せるでしょうという気がするんですけど、何を言われたんでしょう。
0:17:40	すいません。流しながらですね
0:17:46	美術ながら、修正してくという作業をしようとしてました。で、その修正が結構 60 何件あるんですけども、1 件あたり、そんなに時間かかんないだろうと。
0:18:01	思ってたんですが、実際やってみたら結構 1 件当たり時間がかかって、昨日時点で終わってなくて今日もちょっと煤やってるんですが、よそより時間かかってしまったというところで見積もりが甘かったというふうなことを、
0:18:15	先ほど言いました。以上です。
0:18:21	はい。
0:18:24	ございます。何か説明がよくわからないんですけどいやもともと 1 件につき十分時間だったんってたんですけど時間が足りませんでしたって言うてる時点で、
0:18:34	60 何件あって 600 時間 600 円取ってたとは思えないんですけど。
0:18:38	よくわからないんですけど内容のセンサーの詰めだからいいってことでもなくて、まだ内容が結構発散してるようなレベルのもののチェックだったんすよ持ってる時間も出せる状況っていうことですか。谷中。
0:18:50	だから、ずっと中には来ませんですかとか検討終了してんですかってずっと聞いててそこ終わってるっていうから、終わってるんだったらそれ

	を文字起こしただけとかやったらすぐ時間は必ず終わるんじゃないかって 言ってずっと聞いているんですけど。
0:19:02	今のお話だと、まだ検討も十分でなかったところがあるって話ですか。 それとも、結局やっぱ文字の話だっていうこと言ってんすかね。
0:19:14	表現にさせていただきます。
0:19:17	カミデきてないっていうのを担当に言ってるだけの気がしてまして、
0:19:21	時間を区切ってやるんだったら、その時間ごとに進捗確認してできると ころまで出して、あとこれは定時で出しますっていうやり方もできると 思いますし、
0:19:31	そもそもファクトを言いますと、
0:19:34	まだ私のところに来てません。その状況ですので、1チームが出てない っていう状況なのでそれも含めた上でちょっと
0:19:44	やり方を考えます。少なくとも、全部の立証が埋まってなくても、こう いう方法で、その方針なり、ターゲットを決めて変えていくっていうと ころの確認。
0:19:56	もうすることも大事ですし、全部の項目はなくても、前半部分見てこう いう形でやっていきますというのを、リーダー受けて出していくって いうのもやり、やり方としてはあると思うので、
0:20:07	ここを含めて、至急エビナと話をして、やり方調整させていただきます す。
0:20:14	はいコサクです。そういう状況認識を、昨日のうちに本来原燃の中では すべきです。
0:20:22	それを踏まえてこの時点でこういう状況ですと伝えていただくのが大事 で、
0:20:27	それを言おうともしないっていうこと或いは聞いてもちゃんと伝え られないっていうことが大問題です。
0:20:34	7-D。
0:20:36	さらに言うと昨日の時点で気づくべきというところの以前に、
0:20:43	それを気づい気づくような作業プロセスを踏む必要があって、
0:20:50	その場合には、最初、
0:20:53	担当が書き込んでいくという作業の現場に行って、
0:20:57	どのような書き込みをしている。
0:21:00	つものりなのかと。

0:21:02	いうことを蝦名さんなり、さらに言えば、石原さんなりというところまで認識共有をして、今日提出というスケジュールが組まれているのが適切かどうか、或いは、
0:21:16	それができるように、どういう作業計画にするのかと、いうことを昨日のヒアリングの後1時間以内に話をするというのが、業務管理じゃないかなと思いますけどいかがですか。
0:21:31	はい。日本原燃の蝦名です。はい。おっしゃる通りかと思います。
0:21:37	はい。補足です。そういった話はもうここ数ヶ月何度も言っている話なので、こんなメモ。
0:21:45	を作るだことでさえ、ちゃんとできないというのは、甚だ疑問ですのでしっかりと、この後すぐに是正を図って、資料提示どうするのかというのを改めて連絡してください。
0:22:01	はい。日本原燃の海老名です。はい。そうしました。
0:22:09	その他本件につきまして確認はございますでしょうか。
0:22:14	上出です。
0:22:17	最初、藤野さん言われてた14日がどうのこうのっていうなんかSAの関係で14日が云々みたいな話されてましたけど、ちょっとどういう話が教えてもらいます。
0:22:29	日本原燃の藤江です。すいません。パターン説明してしまったの、18日のキーワ安心と。
0:22:36	それから、
0:22:38	きちんとされています。もともとそこにですねヒアリングが分かれてたんでまた希望として、
0:22:48	医療としては1と耐震で山名塚原太郎というところで、
0:22:55	ヒアリング日程を見直したということでございます。
0:23:00	はい。規制庁深見です。もともとっていうのは、いつのことですか。
0:23:08	日本原燃の藤田です。私のスケジュールとか秦椎野でいっぱいそのヒアリングをされている中で、しっかり調整できてなくてやってるものが精査できてなかったというところは思います。
0:23:22	ラピーヌの稲井です。はい。
0:23:24	すいません。規制庁神戸です。よくわかんないんですけどももとの機能はもともと、
0:23:29	言われました。

0:23:32	梅野梅津の時点でそこにヒアリングが密集してるっていうのに気づいて、荒瀬になってます。
0:23:42	規制庁カミデ強くあったんですね、密集してるのに気づいたのは昨日です。
0:23:47	以西の話を14日にしようと思っていたのはいつですか。
0:23:53	そう決めたのはいつですか。
0:23:54	いや、それは昨日の椎野対応している中で14日にやろうというふうに決めています。
0:24:03	規制庁カミデです。状況よくわかんないんでもういい。いいです。
0:24:10	それはもともとそれぞれ耐震は耐震性はSDで、好きにくっつけ場を組んで、14日にいろいろやろうと思ったんだけど、昨日になって並べてみるとこんなにたくさんあるんだって。
0:24:24	思いましたっていう話ならわかるんですけど、
0:24:28	そもそも、
0:24:29	何だろうもともとでもない状態で機能。
0:24:33	スケジュールを組んで、
0:24:36	SAも14日に一応はいっぱいだみたいな話をされてもな、何をやってんのかなっていう感じがするんで、とりあえずだと、これ以上私は確認することあります。
0:24:47	はい。野間です。今、ちょっとスケジュール見つけてできなかったというところが問題かなと思います。
0:24:56	岡井スタッフまず、
0:24:59	規制庁コサクですけど、
0:25:02	私の認識は、それぞれが要望を出してきて、その要望が実現可能かどうかを調整すべきフジノさんのところが調整もせずに、
0:25:13	スケジュール表をただ埋めて提出をしたと。
0:25:17	バッティングしてることにも自分は気づかなかつたと。
0:25:21	言われて気づいてすみませんでしたと言ったっていうただそれだけだと思うんですけど。
0:25:26	違います。
0:25:29	4メートルです。はい。そういうことです。
0:25:33	はい。補足です。なので、ちゃんと束ねてスケジュール表を作るときに、

0:25:39	ちゃんとそういうところを確認をし、
0:25:43	それが、
0:25:45	問題があれば調整、どれでどれを優先するのかっていうことを話し合った上で、整理をして提出するというのが本来の姿であってってということ等を反省されてるんですよね。
0:25:59	人間。そうです。
0:26:02	はい。補足です。当然そういうことをやってっていうふうに話をしていたはずなのにやってないってということなので、今日のこの後のヒアリングにある申請書不備、
0:26:13	の原因と全く一緒に、チェックすると言ってチェックをしているふうなことを言っておきながら、何もやっていないと。
0:26:20	いう社内風土そのものというふうに認識をしています。
0:26:25	なので、こういうのが続いてく上ではヒアリングなんかできませんよということにしかならないと思うんです。
0:26:32	また午後のヒアリングでそういう話をするかと思えますけどよろしくお願いします。
0:26:42	当規制庁カミデでもいいですと言いながら、加えてちょっと言いますけど、
0:26:48	この話を、その話を昨日だったりもうちょっと前に話があれば、曜日の耐震ってどうどう、
0:26:58	とかの変更って何ですけど資料は割と1週間前ぐらいで出ているから、月曜日にやろうと思えばできたんですよ。
0:27:10	なので、火曜日にS Aができてっていうので、後ろ倒しにするんじゃなくて前倒しするっていう方向で作業は進められたのに、その取りまとめのところをさぼったがために、全体後ろ倒しになっちゃったということですから
0:27:25	もったいないと思ってあなたのところにお伝えしてもらえればと思います。
0:27:40	清町の谷井です。付けてるからって、あの方に話があるのかもしれないんですけど、共通中に絡み外部事象の総務課系のやつの費用定数が体制の多様化なんかに結局、

0:27:52	医師をされてたのか結局何だったんでしたっけ、昨日聞いたような気がするけど何かはっきり聞いたか、覚えが定かでなかったって一応確認なんですけど。
0:28:07	はい。日本原燃清水です。
0:28:10	飛来物五蘊以外の外部衝撃のものについて、ちょっと平井町生き物について、ちょっと立野今野全体の進め方を踏まえて、今、横と一緒に資料の方直してまして、
0:28:26	それを次の次、次回ですね、4月の会合に向けて、徐々にご議論させていただけるように資料を出したいというふうに思っておりました。すいません、細田です。
0:28:36	徐々にとかっていうからわかんなくて、どの程度の資料のできであって、どの程度の話ができるのか或いは、見ていかなきゃいけないのかという程度感を聞いているんだと思うんですけどいかがでしょう。
0:28:51	はい。日本原燃清水すいません。来週火曜日にお出ししたいと。今さ、作業を進めているのが、飛来物防護ネットと、カメラ、試薬貯槽。
0:29:03	を進めていくのか、飛来物防護ネットちょっと映像設備が載せられるのかっていうのを今中に入れられるのかっていうのを想定してございました。
0:29:15	規制庁コサクですごめんなさい、通信が非常に何か今日悪くて、ぶつ切りになっちゃってわかんないんですけど、スケジュール、資金の対応スケジュールで書かれてい。
0:29:28	その16行の16行目2、ネット冷却等価メラー試薬貯層排気塔建物計装設備と、
0:29:39	書いてあるんですけど、まず外部衝撃で説明したいと思って、サンプルにしたものっていうのは、
0:29:48	防護盤のほかはこれですべてなのかどうかと、いうことと、ここで挙げられたものすべてを準備しているということなのか、これのうちの一部ですなのか。
0:30:00	いかがでしょう。
0:30:07	日本原電、清水。
0:30:09	今こちらで書いておりますNo16で化されております。飛来物防護板以外のものは、外部衝撃で今ご説明しようとして整理しているもの全体でございます。

0:30:20	そのうち、来週資料、火曜日ですか、資料をお出ししようというふうに考えているものがこの
0:30:27	一部の、ネットとカメラと市役所等というところでございました。
0:30:32	古作です。
0:30:36	ネットとカメラと市役所層を先出したいと。
0:30:40	いう古藤では理解をしましたが、じゃあ他はいつ出すのってということとか、その先出するもので器としては、自分たちとしては反映したものと、
0:30:54	ということで対応するつもりであるのか或いはたたき台なのか、どの程度でしょうか。
0:31:03	日本下シミズです。昨日出した資料のレベル、まずものと、今日の午後のヒアリングの状況、
0:31:15	取り込めるところは取り込んで通い出したいと言うのが、考えておりました。
0:31:25	店長の谷です。部屋で杭を抜くと困るので、とりあえず5号のタイミン グでもう1回言いますけど、
0:31:32	はい。要は、結局その上から同じ出てそこで受けるんだったら別に、3 月の会合である程度説明できるものっていう気もするんですけど県とし ての考え方、3月は、
0:31:43	どういう位置付けで今いただいて説明したいって言うてるのか、この4 月についていうふうに今計画説明されてると思うので、その辺りの考えも 含めてちょっと確認できればと思うんで、今後のヒアリングのタイミン グでまたよろしくお願いします。
0:32:03	はい。日本原燃清水はい。今後のスケジュールといえますか進め方をど う考えるかということも精神悪いかな短く、
0:32:11	はい。午後のヒアリングでご説明させていただきます。
0:32:18	規制庁の武がですねその他スケジュール関係で何かございますでしょ うか。
0:32:25	よろしいでしょうか、それでは原燃の方から振り返りをお願いします。
0:32:37	はい。日本原燃の藤井野辺佐野。
0:32:42	中についてはちょっと今後ですねヒアリング設定にあたってはですねま ずそのヒアリングの方の割合ですね資料提出時期と、そのヒアリングの

	方の割合ってというのはちょっと事前にしっかり調整できるように対応していきたいと思っています。
0:32:56	あと共通中については進め方も含めて、ゴムのヒアリングの中で確認、
0:33:02	説明していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。理解としては以上になります。
0:33:08	はい、ありがとうございます。今の説明で何か覚えてございますか。
0:33:13	規制庁カミデです。最初言われたヒアリングのC A B R Iの話なんですけどチェックはちゃんとしてくださいねっていう話なんですけどそもそも、全体のスケジュールとしてちゃんと管理してないっていうのは、まずあったから、それを受け付けないっていうことですからちゃんと、
0:33:32	きちんと整理をして、見通しを持って対応できるようにスケジュールリングしっかりよろしく願いします。
0:33:41	はい、本件の部長です。はい。
0:33:43	対応させていただきたいと思います。
0:33:48	その他、何かございますでしょうか。
0:33:53	よろしいでしょうか。
0:33:55	それでは続いてI I I A S関係でしょうか。こちら日本原燃の方から説明をお願いします。
0:34:03	はい。日本原燃石原でございます。こちらちょっと通信が悪くて、二重に聞こえたりするところもあるので手短にいきます。今日資料をお出しをします。
0:34:14	それは昨日のI I I A Sの面談のやりとりも踏まえた上で、資料として提出をさせていただいて、
0:34:22	今後その中ではP T S D関係設工認関係
0:34:29	買う、面談としては、みんな集まって、こういうことを確認をしていきたいというのもアイテムとして挙げてますので、その面談もスケジュールに落としながら調整をさせていただければと思っております。
0:34:42	以上です。あとはすいません昨日人が余りにも多過ぎて、人見知りが出てしまってしゃべれずすいません。はい。
0:34:52	規制庁コサクです。
0:34:56	はい。

0:34:57	できれば人見知りはなくですね、コミュニケーションをとっていきけるようにしていくのが大事な取り組みなので、改善をよろしく願います。
0:35:08	スケジュールなり、方針みたいなことを提示いただけるということなので、それを見させていただいて少しどう進めていくかということは、適宜調整をしていければなと思ってます。あと
0:35:23	その上で具体は、来週なるべく早めにキックオフしたいなと思いますので、調整、対応よろしく願います。以上です。
0:35:33	はい、日本石田でございます承知いたしました。
0:35:40	その他、本件につきまして規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:35:48	よろしいでしょうか。
0:35:50	特に振り返りというほどではないかなと思いますので、これはこれで終わりさせていただきます。
0:35:56	本日、事前に伺っていった議題としては以上かと思いますがその他何か原燃からございますでしょうか。
0:36:06	日本原燃側からは特にございません。
0:36:09	はい、ありがとうございます。何か規制庁側からもその他ございますでしょうか。
0:36:14	よろしいでしょうか。
0:36:16	それでは本日の午前のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
0:36:22	様でした。
0:36:24	そうです。
0:00:02	原子力規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:08	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設の設工認申請について、これまでに提出があった資料をもとに、事実確認を行うものになります。
0:00:21	規制庁側の出席者ですが、本庁側から、コサクハバサキタジリ。
0:00:28	シミズ武が、
0:00:29	ウェブからの参加がオオハシフジワラカミデ。
0:00:34	タカナシオオオカセトガワキシノ以上になります。
0:00:39	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、エース各担当の役割、

0:00:46	あと本日の説明範囲達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:52	4 連事務局の中浜です。
0:00:55	日本連盟側の出席者紹介いたします。
0:00:59	事務局より、さぼー、新しいイシハラセガワ。
0:01:06	フジノナカハマ。
0:01:08	申請書不備関係の取りまとめで都築、中フジベ辻本。
0:01:16	耐震関係で、ホシノ重大事故関係で、細木氏、品証関係でシバザキ者、
0:01:25	あと共通事務関係ですけれども共通に取りまとめるシリーズ、死守補正取りまとめでは、補助関係の説明者で、
0:01:37	過去の李ナツメ、
0:01:39	何かあれば、何言った。
0:01:43	以上となります。
0:01:44	建設部の倉崎松代でございますけれども、まず最初に、設工認申請書の不備への対応状況、また共通準備と、
0:01:55	順番に進めさせていただきたいと思います。
0:01:59	9 番参照施設購入申請書方々の対応状況についてご説明を差し上げます。
0:02:07	スズキでございます。それぞれの段階の設工認申請書の日についてという資料に基づいて説明いたします。
0:02:15	本日の達成目標としましては、今月の 3 月 20 日に予定されております審査会合について、申請書の不備について説明事項となっております。
0:02:27	説明内容についてですね現時点で、社内の手続きや C R 処理を行ってまして、事象と、
0:02:37	大体いろいろと再発防止対策を策定しております。その中での共通的な問題と、別の対策にも行っております。こちらの方について、衛藤、
0:02:50	とですね、ご意見をいただきたいというふうに思っております。
0:02:53	世良の方ですけども、まず最初の 1 枚表紙めくって 1 万にですね特に、
0:03:01	4 月第といったところの全事象の共通事項について審議しております。それ以降の要因分析については、何かいただいたコメントですね、について修正をしてになっております。
0:03:12	何か紙が導けないんですけどもこちらについては、
0:03:17	前回の時は対策の坂です。

0:03:20	ちょうど入れたんですけども、ちょっとリリースに対して分析をしていたところを、
0:03:29	この対策で、9という形でそのことを2断面、一応修正をしております。
0:03:34	その他についてですね文章というところがよくわからないところがあったので、そちらについて修正を適正化しているものと、
0:03:43	先方の番号ですねこちらについて、ちょっと次チェックしてるところについて、東芝見つけたということがありましたので、その対策2番も見直しを行っております。
0:03:56	まずさ説明の方ですけどもまず1枚目の方でして、現次長の共通ということで、
0:04:03	アグレックス問題としましては実質的なチェックができなかったという点があります。
0:04:09	については、セックスインド点として、スペシャルと申請者が、いずれもですね経時的にチェックをやっていただくという問題となります。
0:04:19	それについて人として、事務局、作成の状況を確認してですね、審査、若干し、確認して行ってやっただ。
0:04:30	ということで、
0:04:32	必要期限を設定してしまったということで、
0:04:36	それと経営層につきまして本申請のチェックの実態を把握していなかった。
0:04:42	今見ております。
0:04:43	あと作成担当担当に言ってもですね、生活するのは、
0:04:48	メックっていうのも審査ということも大事だという認識があって、
0:04:53	実績は10回行って来なかったと、どういうもん。
0:04:58	運動し対策として、事務局は、
0:05:03	C Sのチェック状況ですね、そちらのチェックの実態、
0:05:07	確認して、その状況を経営陣報告するということでマスの経営層は積極的に、上部の全国を逆に認めて、こうしくんだ薬師事故を行うというような対策を挙げております。
0:05:22	もう一つ飛ばしまして、作成者みずからチェックを実施するという、
0:05:28	いわゆる対策として、
0:05:31	チェックをするところには、そちらを確実にやるということで、

0:05:38	システムプロセスのこちらの必要性と、失礼精査記載事項の造成をですね、
0:05:45	とるべくメッセージを上げたように、
0:05:48	3日どう取り組むことを進めていこうというふうに考えてますそれをもって実施すべき方を確実に実施するということを施策として、継続的にやっていきたいなと思ってます。
0:06:00	これらに、かつ、作成担当者が、実施していくことについて、それを第三者的な作成担当と別処遇人に検討会設立施設がチェックしているところ。
0:06:14	ちゃんとやられてるかっていうことを、申請とラビリンズに突き合わせ月間、
0:06:20	実際られてるかどうかを抜き取りで確認と進めていきたいというふうに考えております。
0:06:25	ちょっと資料も見ましてもよかったんですけど一つの柱、貸借主体として、
0:06:30	娘は、
0:06:34	資料の4社程度できなかったという、
0:06:37	ラインが余ってますってそちらのプレート間の申請部が、投手決まってたってこともあってチェックができなかったっていうのがあるので、合併の時に申請書の
0:06:48	再確認落丁という説明時間をとったHチェックするというようなことを、
0:06:54	行きたいというようなことを、対策を思うんですねT対策として、
0:06:59	させていきたいというものでございます。
0:07:01	結論北條です。
0:07:07	はい。規制庁の竹田です。それではただいまの説明につきまして規制庁側から確認あればお願いします。
0:07:16	規制庁カミデです。説明の最後に合本後のチェックをしてなかったって
0:07:23	いう話ですけどそれをどこかに書きこう見ますという話だったんですか。
0:07:29	まずですね資料の対策の10番に挙がってまして、資料を受けますと、
0:07:35	いろんな先も3番目になります。

0:07:38	下から、
0:07:41	対策の樹立問題のDB3というところでございます。
0:07:49	はい。規制庁カミデです。それはあれですけど前回そんな対策は書いてなかったんですけど、今回増えてますっていうだけ
0:07:58	っていう紹介ですか。
0:08:01	都築です。
0:08:05	向井ですチェックする期間を設けるっていうのを挙げたんですけども、そうですねもう少し具体的に、時点で退出チェックするのかっていうのもちょっと、
0:08:17	次もう少し具体的にしたものになっております。以上です。
0:08:24	はい。規制庁柿木です。あったんですけど、記載を明確化しましたっていう説明が、
0:08:32	それ以外に、前回一応耐震として話を聞いたんです。耐震もそのうちた期限ですって。
0:08:41	それがまだ追いついてなくてという話だったんですけど、それ以外にどんなものがあったのかというところとそれも踏まえて耐震基準のときに考えてた考え方等、
0:08:54	2 どんな影響があったのかなかったのかっていうところを簡単に説明してもらえますか。
0:09:01	室井スズキでございます。今回については耐震毅然、その他の支援ですねについてはもう窪委員、代理店を頭出しまして、そちらについて対策を挙げております。
0:09:17	TMIのところでの対策としましては、
0:09:22	黒野に、耐震あげた対策と同じ面、
0:09:28	やっていますすみませんちょっと。
0:09:30	2月10月ですけども、内部委員はですね耐震が決めてくればね、対策要員カバーできるんですけども、それぐらいのところですねいろいろあって、うち見ますと、対策本部ですね。
0:09:46	この後三品線、すいません、今しゃべられてる方、そこがちょっと聞き取りにくくてですね、ちょっと工夫してるんで、お願いします。
0:09:58	日本原燃、鈴木です。
0:10:02	煮詰まっています今野でも、ちょっと聞き取りにくいぐらいなんですけど、

0:10:08	ベルリンの辻本です。
0:10:11	はい、お願いします。
0:10:12	えっとですね大分もですね、シンゴ耐震の分析、それから対策の方の記載の方でカバーできるんですけども、
0:10:23	麻生北浦のところで続きました、としましては1ページ目のですね、削減、
0:10:31	のところで取りまとめか。
0:10:33	それとその他の間でね、変更が生じた場合に、サトウ社等となり、取りまとめ方の
0:10:42	いろいろ取り組めるっていうところはちょっと十分であったということのでそこを対策でちょっと挙げてます。
0:10:49	それらに関しましては、これぐらいの最新の時に出てきた部署も分析深掘りした。
0:10:57	我々も対策棟大体カバーできるというところになってございます。
0:11:02	以上です。
0:11:07	はい、規制庁上津わかりましたというか事業者としてはほとんど耐震基準であった状況といったような、
0:11:14	一部ありました。
0:11:17	まずわかりました。で、2ページでちょっと確認したいんですけど、
0:11:24	二つ目の矢羽根で記載漏れ、記載誤り、落丁たい体裁不備と。
0:11:31	四つケースがあるんですけど、ていう所の方に具体例をつけてもらってるじゃないですか。記載漏れは何ページのことです。
0:11:41	木曽も4のページですっていう形でちょっと4ケース、後の実例との対応を説明してもらえますか。
0:11:51	はい。古井の鈴木でございます。事象0のところの1ページについてはですね、それぞれやっております、
0:12:01	これ、耐震計算書の例でございます。
0:12:05	村田として今、危惧してるところでございますが、一次+二次応力の結果で作成力キャリアを超えていると。
0:12:16	疲労評価結果を記載するっていうことだったんですけども、
0:12:21	疲労評価結果抜けてタテウチで思っております。
0:12:25	政調会長が1個1個ずつ行きましようか。はい。10ページ目が対応するっていうことでこの資料からだ。

0:12:37	マスクングになってますけど、
0:12:40	誤りの記載と性の記載があって、
0:12:45	誤りが応力値ですね。
0:12:51	清野土肥は、
0:12:55	清野あたりってこれ何だったんですか。
0:12:58	やっぱり本業務にスズキでございます。正しくはこの一次+二次応力の [REDACTED] という算出織り込ん
0:13:11	すみません、それがちょっと発言してしまいましたすみません。
0:13:15	すみませんコサクです。
0:13:17	そもそもこれマスクング箇所と、
0:13:19	提示する必要あるんですか。
0:13:26	前にも言おうかなと思ってたんですけど。
0:13:32	具体的なページを示し、
0:13:35	てもらわなくてもイメージとしてこういう間違いをしまったと。
0:13:39	いうことが伝えられればよくて、それはマスクングじゃない形で表現することは可能だと思うんですけど、
0:13:59	日本原燃都築でございます。今回ちょっと実例をですね、載せるということでした。すみません。
0:14:07	はい。コサクです。今みたいなミスが起こるので会合でそんなことをやらかして欲しくないんで。ええ。
0:14:15	なんていうかな、概念図的なものにして、ちゃんとわかるような書類にしてください。その上
0:14:26	実態がよくわかんないということであれば申請書の何ページ。
0:14:30	例えばっていうようなことで書いていただいたりすればわかると思いますのでよろしくお願いします。
0:14:38	日本原燃都築でございます。了解しました。
0:14:42	はい。補足です。他のページも一緒ですのでよろしくお願いします。で、その上で、元の話に戻ってください。
0:14:58	規制庁上出です。
0:15:01	なので、
0:15:04	今、5、
0:15:06	誤りのところに応力値が入ってて正しいのが詳細評価の、
0:15:11	結果が、

0:15:13	ここに入れるべきだっとなってますけど私はそういう認識ではなくて、
0:15:18	とりあえず、
0:15:20	応力値は入れた上で、そのあとに詳細な結果が排除だったり、注記で、 詳細でやっててOKなんですっていうのが、そちらのルールだったんじゃないかなと思ってんですけどどうですか。
0:15:32	はい。日本原燃の星野です。こちらの方はですね一次二次、一次+二次のところが、通常の評価では判定値を超えてましたので、
0:15:44	評価としては疲労評価を行っているものになります。で、我々の方の記載の仕方としては、
0:15:54	そういった場合は疲労評価の結果をここに数値としては記載した上で、 注記でその疲労評価を実施していますと、いうことを書くことで整理しておったんですが、
0:16:05	そういうふうに記載ができなかったという、事例になります。ですので ちょっと上書いてる、
0:16:11	はい、鶴岡です。
0:16:13	今、12月にあった申請書についての耐震計算書だと。
0:16:19	疲労評価まで進んだときに一次+二次のところに機動評価の結果を入れて いなくて、一次+二次の結果が普通に入った上で中期で逃げてるって いうような、
0:16:30	感じだったと私は記憶してます。なんで今星野さんが言った、
0:16:37	いや、
0:16:37	話は、今後、そういうふうにしよと思ってらるんですけどということですか。 それとも、もう申請書の時点でそうなってますけどってということですか。
0:16:47	はい日本原燃星野です。
0:16:51	申請書です。藤尾ごめんなさい、古作ですけど、申請書ってどういうふう に書くつもりかって言うのは申請書でも、
0:17:01	様式の説明をしていたはずだし、補足説明資料でも書類としてどういう ふうにして書いていきますっていう方針を書いていたはずなので、その
0:17:11	資料、
0:17:13	ページ数を言って説明してもらいます。
0:17:22	はい。日本原燃星野です。

0:17:24	ですね 12 月の申請時点では疲労評価の記載方法をこうしますということが計算書作成の基本方針の中には残念ながら記載ができておりませんで、
0:17:39	古作です。残念ながらできていないんだったら、よく、何かよくわかんないんですけど評価プロセスを一通り出して、それを全体説明できる書類にしますと、
0:17:50	申請前にも話してははずですけど、或いは第 1 回の申請として説明してははずですけど、その時に、各フォーマットにしないと判断したのは誰ですか。
0:18:08	はい。日本原燃星野です。
0:18:12	ちょっと回答すんになるかどうかあれなんですけど
0:18:17	この 12 月の申請の時に、こういった場合の記載の仕方ですね、について施設課とのやりとりでですね、こういうふうに記載しましょうということを、
0:18:29	何だ、すいません、加来です。施設課関係ないです。
0:18:35	施設課は、こういうふう書きなさいと言われたものを変えていくということで、これだと書けませんと言って問い合わせがあったかもしれないんですけど、判断するのは施設課じゃないと思うので、
0:18:46	あの人のせいにするようなことで登場人物をふやすのはやめてください。
0:18:55	はい日本原燃星野です。申し訳ありませんでした。
0:19:02	はい。日本原燃星野です。ここの記載の仕方について決めるのは私ども機器耐震グループの方になります。
0:19:12	規制庁コサクです。
0:19:16	枠を設けずにこの中で書くんだと。
0:19:19	判断したタイミングはいつで、それを我々にどういうふうに説明しましたか。
0:19:26	はい。日本原燃星野です。1 月以降のですね計算書の不備が見つかった後に、計算書の方もこうしていきますという古作です。
0:19:39	申請前。
0:19:41	12 月にフォーマットの話してませんでしたっけ。
0:19:56	やっぱり、日本原燃星野です。
0:19:58	と、1012 月の時点で、計算書のフォームについて、

0:20:06	説明は、
0:20:08	知って来ていなかったと思いますが、
0:20:21	規制庁コサクです。してないんですか、してないんだとしたら、
0:20:25	共通 08 だったか何だかわかんないですけど、計算書をどういうふうに変えていきますと、
0:20:31	いう議論が、
0:20:33	しなくていいという皆さんのご判断で、対応されたってことですね。
0:20:39	ちょっと今書類、自分では開いてないので、
0:20:42	どの程度書いてあったかわかんないんですけど、
0:20:50	はい日本原燃星野です。すみません私今発言したのは疲労評価のところの書き方について具体的に説明したということが、
0:21:00	ちょっとなかったのかなということで、発言をしている補足ですけど。
0:21:06	疲労評価を話題に上げなかったのはその通りかもしれないけど、話題に上げるべきタイミングはどこだったかというところで、様式について話してませんでしたっけってお聞きしてます。
0:21:28	はい日本原燃星野です。
0:21:32	ちょっと、今、私が把握してるところだと話がちょっとできてなかったんじゃないかなと思いますが規制庁です。話をする機会は山ほどありました。
0:21:44	その時に話をする気になっていなかったというのが根本原因問題だと思ひ、思ひます。
0:21:50	それが上がって来ていない対策をどうして妥当と思えるのかと私は疑問でなりません。
0:22:07	コサクです追加で言うと先ほどその1月になってというような話を言われましたけど、
0:22:13	その段階においては、別部枠で書くんじゃないかとここの中で書きますという説明をしてるってことですか。
0:22:21	カミデはそう理解してないみたいですけど。
0:22:29	はい。日本原燃星野です。
0:22:32	ちょっと具体的に口頭で説明できてたかどうかはあれですが一応計算書のフォームの記載例をこういうふうにしていきますというところには、
0:22:44	評価の書き方のところも記載をさせていただいておりました。どの資料を見ればいいですか。

0:22:58	少々お待ちください。
0:23:05	日本原燃星野です。すいません資料ちょっと準備しますので少々お時間いただきたいのですが、
0:23:14	規制庁の谷井です。ちなみに今言われてるのは、そういう考え方まで見えるように書いてあったのか、数値が書いてあって何の数値かっていう解決は書いてないけど私たちはその数値を書くっていうつもりで書いてたんですっていうことなのかっていうと、自分の話ですよ。
0:23:35	はい、日本原燃星野です。後者になります。
0:23:39	調達だから、ちゃんと数値化まで説明してないけどその数値は私たちはそのことを書いたんで、勝手に理解してくれると思ってたんですっていうのが今の説明ですか。
0:23:50	はい。日本原燃星野です。
0:23:54	そうですねちょっと言い訳がましくなるかもしれませんが12月の時点と、その年明けにこういうふうにし、修正しますって言うときの書き方自体には
0:24:08	こちらからの各方針としてた内容としてはあの辺変わりはなくってですね。
0:24:15	もともとこうしようとしてたものが、できなかったところを、記載のサンプルにしっかり変えて、
0:24:25	ご提示したものになります。
0:24:28	規制庁コサクです。もう話にならないので、
0:24:32	ちゃんと時系列整理して説明してくださいと。
0:24:36	いうことにとどめたいと思いますが、
0:24:41	様式を整理をして、どこに何を書くかを明確にして申請してくださいというのは、そもそも第1回の前からも言ってますし、
0:24:51	第1回の時にちゃんとできてなくて、第1回の
0:24:55	申請書を補正されるときにも話をしている。
0:24:59	言う古藤なので、まさか第2回何が書いてあるかっていうのがわからない申請書を出されるとは思わなかったですし、
0:25:08	1月にその説明をといるときに、12月と変わらないから特に明示をする必要もあると思ってませんでしたみたいなことを言われても、甚だ疑問なんですけど。

0:25:22	先ほど残念ながらと言われたように、申請書で読めないような申請書を書かれても困るんですね。
0:25:28	で、疲労評価は疲労評価としての記載枠を設けるのは、実用炉であれば当たり前の話。
0:25:37	皆さんは実用炉のフォーマットを参考にしながら作ってきますと言ったはず。
0:25:42	ですけど、私の認識違いですか。
0:25:48	はい。日本原燃星野です。コサクさんの認識の通り、通りです。はい。はい。コサクです。だとしたら、
0:25:57	実用炉はこうだけど我々はこうだから、こういうふうにさせてくれと。
0:26:02	いうふうにゆ言わないとおかしいと思いますし、そう、そういう。
0:26:09	こともできてないからおのずと実行部隊は、作業部隊はそんなことわかんないから書き間違えたと。
0:26:17	いうことであって、
0:26:19	時間がなかったから以前の問題じゃないですか。
0:26:30	はい日本原燃星野です。
0:26:33	記載の仕方については事前に施設課の方に見解はしておいたものを、大坂です。だったら、
0:26:44	今のところをそういうふうには書けと言った指示書を提示してください。おったんです。
0:26:51	聞こえました。
0:26:52	はい、日本原燃補修です。承知いたしました。
0:26:57	日本原燃の瀬川です少しだけちょっと言い訳をさせていただきたいんですが、先日今日狩野。
0:27:04	記載の不備の面談の時にもコサクさんからご指摘があったようにですね、そもそも作成者方にとって、やさしい
0:27:17	ルール今回耐震で言えばそういうフォーマットですね、ミス、なお、ミスを起こしがたいようなフォーマットにしとくべきというのが本来あるべき姿だと、いうふうに思っておりますちょっとホシノ
0:27:30	ちょっとテンパってその経緯にさ、とらわれ過ぎてちょっと言い訳がましくしゃべってますけれども、実態、そういう、
0:27:39	作成者方にやさしいフォーマットにできていませんでしたし、そういうミスを回避するような工夫を凝らしたフォーマットにするにあたっての

	ですね、具体的な相談というのもできてなかったのもこれ事実ですので、
0:27:54	そこ、そこら辺もですねしっかり是正項目として挙げて対応していきたいと思います以上です。
0:28:02	古作です。ちなみに今の話は要因分析図だとどうなるんですか。
0:28:12	今の内容が書けてないのはいいんですけど、いいですけどっていうか現時点ではしょうがないと思いますけど。
0:28:19	どんどの場所でどういうふうになっているという古藤の話になるのかという、今の考えを聞かせてもらえますか。
0:28:30	まずどの場所のことかっていうところから、
0:28:35	やはり日本原燃鈴木でございます。要因分析の3分の3になってましてその一番下のところの、
0:28:44	様式不備のところで、
0:28:48	問題点を挙げまして、施策の方を見ております。
0:28:54	すいません日本原燃佐藤です。水これあの事例の1ページ目の話をしますので、3分の1ページのところの、①のゆところだというふうに認識してます。これは、
0:29:09	先ほど来星野が説明してます通り、カクウ者はそれぞれ担当者はそういうルールを認識してるという前提のもとで、ちょっと作り込んでおりましたので、そういったルール通りできなかったというのを、
0:29:23	チェックできなかったというその時間の方がなかったかという問題の方で整理を今しております。以上です。
0:29:30	はい、古作です。
0:29:33	なので、
0:29:36	要因分析図で普通やることという、記載漏れてその次に記載しなかったと。
0:29:45	いったところワー事実関係を整理をした体系。
0:29:50	付けたというだけであって、
0:29:53	なぜ記載できなかったかと言った原因を分析していくというところで枝分かれしていく中に、
0:30:06	落ち着かせたい、解決策の部分の要員しか書かず、
0:30:11	そこに潜んでいる問題点というのを抽出するという考えが足りない。
0:30:16	ということだと思っています。

0:30:18	なのでこの部分そういう視点も含めて、もっと拡充をされるというふうに理解をしましたけどいいですか。
0:30:31	はい。日本原燃鈴木でございます。はい、了解しました。
0:30:44	古作です。上出さんどうぞ。
0:30:49	はい、上出です。蒲生。
0:30:52	疲れちゃったなって感じ。
0:30:55	一応、当初かな。
0:30:58	確認。
0:31:00	さっきのところって一応確認しておきましょうか。何ページだったかって、コサクですけど一応ごめんなさい。先ほど星野さんに言った、この様式をどういうふうにするつもりだったのか、どう提示したのかと。
0:31:15	いう時系列はあの整理はそれはそれでしてください。
0:31:20	誰がどうあるべきだったかっていうのはしっかりと原因は押さえておきたいので、それを整理をして、今後どうするのかといったときは、様式は当然別の場所で書かないと。
0:31:33	とてもじゃないけど、その列で違うことが書いてある。でも読めますよねって言われても、
0:31:40	厳しいような気がするんですけど、一方でその様式が、
0:31:46	この表にもありますけど、／が多くて見づらくてみたいところで集約しての様式にしますというふうに工夫されているところを、
0:31:58	ふやすとどうなるのかといったときに、入れられるものなのかどうかと。
0:32:04	ということで、数列、これでは2列追加するだけの話だとは思いますが、
0:32:13	うん。
0:32:14	どう。
0:32:15	していきましょかっていうそのあたりは、いつどう議論すればいいですか。
0:32:24	はい。日本原燃星野です。時系列の整理をさせていただいてその内容をご説明する時に、この疲労評価の記載の仕方についても、ご説明、
0:32:36	したいなと思います。
0:32:39	はい。コサクです。それでしたら

0:32:44	対応として原因から対策までというのを一貫して説明を個別にされる機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。
0:33:00	古作です。神谷さんすいませんどうぞ。
0:33:03	はい、規制庁科別私の今の話はちょっと聞こうと思ってて、
0:33:08	整理してくればいいんですけど、修正こんなふうにしていきますっていうのは2月3日
0:33:15	今日は資料かなとは思いますが、
0:33:18	その中にも今、
0:33:20	ちょっと拾う子かけますみたいな感じは書いていないし、やっぱり認識違う。いずれにしても整理してくださいで、大事なのはっていうかし、確認したかったのは
0:33:34	今日の資料の10ページのところですよね。これが12月の段階において、こういう生の記載に、
0:33:44	することをしないと、ちゃんとチェックしていれば、音声の記載になるようなルールに本当になってたのかと。
0:33:52	いうところが気になっているところでしたのでちゃんと説明するようにしてください。まず今の時系列っていうところだと思いますけどよろしくお願いします。
0:34:03	はい。日本原燃星野です。承知いたしました。
0:34:07	はい。規制庁菅です。2ページ目の二つ目の矢羽根の、
0:34:14	ところろう簡単に対応を聞きながら、結局落としどころとしては介護資料として、こんなことがありましてっていうのを、
0:34:25	二つ目の矢羽根だけでは、わからないので事例を1ページぐらいつけて欲しいなど。その時には先ほど古作も言ってましたが、
0:34:36	実際のもを出してくると何かマスキングになっちゃいますから、例としてこんなものですっていう形で簡単な例示を作って、1ページなり2ページぐらいにまとめて、こんな悪さがありましたと。
0:34:50	いうふうにまとめて欲しいんですけど。
0:34:54	大丈夫ですか。
0:34:59	逸見鈴木でございます。了解しました。
0:35:04	はい。規制庁神戸です。

0:35:07	イメージがこんな感じ。わからなければまた堺とかでも聞いてもらえればと思いますけど、そういう形があって実例がありて2ページ目にあるように全体共通の、
0:35:21	悪さ、代表的なところがっていうところですね。
0:35:26	他、説明されれば、
0:35:28	まして、
0:35:29	2ページ全事象共通と言いながら、一番左ところは事象1例しかなくて、
0:35:41	だから共通的に何が駄目だったのかっていうところをちゃんと書いて欲しいんですけど、事業者としてはどう考えてますか。
0:35:51	日本原燃鈴木でございます。事象としましては、
0:35:59	個別の事象を見ていくと、
0:36:03	そちらを見てくと、全体的にわかる問題点として2ページ目のある、隣の問題点ですね。
0:36:10	それ、大体の事象についてこの問題点、形式的なチェックになってたというところが上がってましたので、
0:36:17	次長点ぶ一つけると、その行うのでちょっと1例だけをつけたというものになっております。
0:36:24	以上です。
0:36:27	と規制庁カミデです。
0:36:29	なので、なのでというか左側にはその共通的な事例じゃなくて共通的にこういう問題がありました。今の話でいうと、チェックは形式的でしたっていう。
0:36:42	ところですかね。そういうのを書いて欲しいなっていうところなんですけど、大丈夫ですか。
0:36:48	日本原燃鈴木でございます了解しました。
0:36:52	はい。規制庁深見です。で、
0:36:54	今さっきの話を聞いて思ったのが、
0:36:59	要はチェック。
0:37:02	できたのかっていう疑問もあって、
0:37:05	私あるべき姿が定まっていなかったんじゃないか。だから幾ら見たって、正しい姿には至らなかったんじゃないかっていう何かそういう作業のですね、横どん横並びの、

0:37:16	問題点もあるような気がするんですけどその辺で事業者はどうか。
0:37:26	よろしいですか。
0:37:29	大宮佐藤です。おっしゃる通りで、これ今もその時間だけの要員を出してますけれども、今し方までずっと議論があったようにそもそもどういった形で作るのがせいなのかっていったところの、
0:37:40	社内での周知というのが不十分だったというに思ってます。ちょっとこれから検討しますが今、記載させていただいている対策の中で、
0:37:48	ブログっていうのが比較的ちょっとこれに近いのかなというふうに思ってますして、記載が統一となるような可能性のある場合であるとか、明確な場合、
0:37:58	時にはしっかり様式であるとか記載方法これをまとめていろいろ作成すると、ここが確かに欠けていたのかなというふうに思ってますので、ちょっとこの辺りは、はい再考してちょっと追記したいというふうに思います。
0:38:13	はい。規制庁上出です。それも共通要因な気がするので、挙げていただいてとは思いますが、
0:38:22	の話でも周知ができていなかったんだと、
0:38:28	ある人は把握はしていたんだけど、
0:38:31	形、あるべき姿はもうでき上がっていたんだけど、
0:38:35	伝える作業ができてなかったっていう話ですね、本当にそうですか。
0:38:41	本当に誰かはあるべき姿ちゃんと見えてましたかっていうところなんですけど、それはいかがですか。
0:38:54	日本のサトウですと各事象ごとに伸びてるんですが今回の疲労については、
0:39:00	すいません私の認識では機器耐震の方、取りまとめ箇所は、それはらしいかどうかというのはちょっと議論はありますけども、こういう書き方をするっていう共通認識を持ったと。
0:39:11	いうふうに理解しておりますして、それが各施設課の方に十分周知されているのかというふうにはい。そんな認識でおります。
0:39:18	補助かもしれないですけど、
0:39:21	規制庁カミデ末広の話だけ聞いてるわけじゃなくて、全体として話を聞いてますから、そういう問題はなくてっていうことなのか、

0:39:33	部署によってはパートによってはそもそも、何が正解かもよくわからないままやっちゃっていたのかっていうその辺事実確認として、聞きたかっただけなんですけど。
0:39:51	人がサトウです。それが盛大だっっていうのを、
0:39:56	ある一定の部署としてちゃんと認識してったところはすみません私も自信がないです各個人であるとかというグループ会社の交流としてはこうだというのは、もちろん内藤作成ができないので、思いますけれども、それを、
0:40:10	まず1、的場課長としての共通認識として持ってたかというのは、ちょっと確認させてください。ですから、それが全員社内的に周知されていたところの問題もあるかと思しますのでちょっと
0:40:23	再確認させていただきたいと思います。
0:40:26	はい、規制庁深見です。
0:40:31	何て言うのかな、ルールの周知だったり、徹底。
0:40:35	ルールを示すと、作るも含めてですけど、というのも、左側の全体共通の事象のうちに入るということであれば、何が問題点だったかっていうこと等、
0:40:47	そのときに、ここまではできてたんだと、今の話だと各担当レベルでは、何だろう、条文担当っていうか、いうレベルではわかっていたんだけど、
0:41:01	周知ができてなかったのか、課としてわかってないとか、その組織として、
0:41:06	伝わってなかった、
0:41:08	別の部署に伝わってなかったのかとか、どこまでできてところからができてなかったのかっていうところをちゃんと明確にするようにしてください。よろしいですか。
0:41:20	米田サトウです。はい、承知いたしました。
0:41:25	はい。清長カミデさん。
0:41:28	後継ぎ問題点に行って、
0:41:34	ちょっと登場人物が、
0:41:37	いくつかいるので具体を聞きたいんですけど作成担当課っていうのは、具体的に言うと、名前挙げると何かですか。
0:41:46	日本原燃鈴木です。作成担当課は申請書を作る、施策数、各施設か。

0:41:55	になっております。
0:41:57	はい、規制庁から。わかりました。すみませんあと、もう1個だけ最初に聞こうと思って忘れてました。
0:42:04	さっき話したのと似たようなところなんですけどそちらとしては、チェックが形骸化していた、形式的なチェックになっていたって、
0:42:14	言われてましたけど、私が見る限りそもそも何にもチェックしてないでしょ。
0:42:20	0でしょって。
0:42:22	思っちゃってるんですよ。
0:42:23	そういう私に対していやこういうところはちゃんと見てましたよって反応して欲しいんですけど、反論いただけますか。
0:42:43	日本原燃鈴木でございます。チェックした資料をチェックする際にですねチェックシートっていうものがありまして、チェックシートに基づいて資料と、
0:42:54	エビデンス関係ですねそちらの方についてはチェックしてると、いうことを確認しております。そのチェックがどこまでやられたかっていうところでいくと、そこが形式的になったというふうに考えております。
0:43:06	以上です。
0:43:10	規制庁、カミデです。
0:43:14	チェックシートっていうのはどういう単位で作ってます。
0:43:26	日本原燃鈴木でございますチェックシート申請者のチェックシートについては、その施設課単位作成湿布所の施設課単位になっております。
0:43:37	以上です。
0:43:39	はい。規制庁カミデです。それはあれですか耐震とか、在庫とか閉じ込めとか、全部合わせて施設課で一本、
0:43:56	日本原燃フジベです。対象によってまちまちで、科によっては、課単位で、次のところもありますし、作る対象が多いところについては、対耐震とか、
0:44:10	強度とかそれぞれで、チェックシートを作っている、そういう運用になってます。
0:44:16	以上です。
0:44:18	はい。規制庁、上手です。で、
0:44:22	チェックシートがあって、で、

0:44:27	チェックシートはすべてできてたってことなんですね、事実関係としては。
0:44:35	日本原燃フジベです。チェックシート自体はすべてありました。
0:44:40	以上です。
0:44:41	はい。規制庁菅です。ちなみにそのチェックシートを作ったときと合本したときっていうと合本する前にチェックシートが全部でき上がって、
0:44:54	日本原燃フジベです。合本前にチェックシートができているとなっています。以上です。
0:45:02	はい。
0:45:03	だからチェックシートに従って全部ちゃんとチェックしました。
0:45:10	何でこれが起きたんだっていう気がするんですけど、そこが形式的と言われてるところなんだと思うんですけど、なんでそんなことになっちゃうんですか。
0:45:24	規制庁コサクです。それを時間のせいにしてるようですが時間があつたら見たのかと。
0:45:33	いう気がしてですね。
0:45:36	これまでの補足説明資料とかもそうですし、過去の申請内容も、特に補正なんて本来時間があってしかるべき。
0:45:45	なわけですけど、さんざん間違いだらけの補正を受け取ってるわけですよ。
0:45:51	そのたびにこちらから指摘をして再補正再補正となっている。
0:45:56	ということからして、時間があればチェックできますっていうのが本当かっていうふうに思ってますけどそこはどう考えてますか。
0:46:06	日本原燃鈴木でございます。時間があれば、高道かということについてですけども、1人何かをしたところで聞くと、時間があればチェックができたというようなことを確認しております。
0:46:21	すいませんコサクですよ。
0:46:25	昨年もすいません。佐藤です。それは聞いたら行きますって言ったじゃないですか。はい。
0:46:34	おっしゃる通りで時間があつたらできたかと言われると我々も、
0:46:41	ここは非常にあやしいと思ってます。

0:46:46	植野サトウです。はい。私もおっしゃる通りで議会だったらできたかと言われると決してできた西尾持っているのではないと思ってます。そういったことも踏まえてですね、今回の対策としては、
0:47:01	丸谷スズキが述べました通り最初の対策 123 というのが田力病院ではあるんですけども、まず実態の把握をしっかりとやるということが1番目、対策の2としてそれぞれ作成者側での意識づけをしっかりとやるというのが2番目。
0:47:16	施策3として、本当にそれは意識づけしたものの恩典やってるかっていうのを、例えばA V Sがちょっと簡易的な位置付けで、ちょっと別の部署がそれを本当にやってるかというのを、実記録をもって確認すること。
0:47:30	それからそれ以後のところは、
0:47:33	大瀬安東も申しました通り、実際に現場でやる人に、やさしくかどうかってのはちょっとわかりませんが、実際に作業する人間が意識を持ってチェックができるような運用であるとかツール、こういうのを設けて、
0:47:48	あってこれらの澤田で何とかやっていけるんじゃないかということで、今回対策をちょっと立案したという次第でございます。
0:47:57	はい。古作です。それで言うと、今日の資料の2ページ。
0:48:04	2、再発防止対策を大きく三つに分けて書かれていて、これは1の関係から事務局経営層第三者と、
0:48:15	ということで書かれてますが、
0:48:22	第三者のところ2エビデンスとの突き合わせというようなことが書かれているんですけど、
0:48:30	今話してるのは第三者じゃなくて作成担当。
0:48:35	及び審査者のそれぞれのチェックのときに、どういうチェックをしていましたか。
0:48:42	時間があればできますかと。
0:48:46	できますかとかやりましたかっていうことかなと思いますけど、いうところ形式的には申請書とエビデンスはそれは物としてはあったでしょう。
0:48:59	思いますけどそれは、
0:49:00	確認してますか。

0:49:10	4 ページスズキでございます。申請書度デンスのチェックは、
0:49:16	していたというふうに理解しております。
0:49:19	コサクです回答が違って理解しているじゃなくて、調査をしましたかと聞いています。
0:49:28	チェックシートがあるのはわかってますけど、今先ほど聞きましたけど、チェックシートに何と何をチェックしたかっていうのが書いてありますか。
0:49:41	この部分のエビデンスはこれです。この部分のエビデンスはこれです。
0:49:45	とかっていう資料はありますか。
0:49:52	日本原燃鈴木でございます。そこはあるというふうに確認しております。
0:49:57	はい。補足です。その次にはちゃんとその物を見たかという意味で、物は並べられてますか。
0:50:08	それともそれは原本管理のところにも見に行かなきゃいけない状態ですか。
0:50:15	日本原燃鈴木でございます。そのエビデンス数のものについては、事務局と
0:50:21	T 資料もらったときに、原本管理したところを見に行かなきゃいけないという状況になっております。
0:50:29	以上です。はい。補足です。そうすると、本当に照合したかという記録は、チェックリストのチェックしか。
0:50:40	信頼記録としてはないってことですね。
0:50:45	日本原燃鈴木です。その通りです。
0:50:47	はい。補足でそうすると一サボってチェックしててもばれないわけですね。
0:50:56	日本原燃鈴木です。そ、そう、そういうふうになります。以上です。
0:51:00	はいコサクです。そうすると、課長なり第三者は本当にチェックしたかっていうのは確認しようがなくて、結局第三者が改めて原本持ってきて、
0:51:13	見ていくということをしなきゃいけないってことですね。
0:51:19	はい。日本原燃鈴木です。そういうふうに理解してますので、施策として、

0:51:26	申請書とエビデンスがちゃんと突き合わせてチェックしているっていうことを確認しようというふうに思っております。
0:51:34	代表の鍛冶です。これは第三者のところに書いてある括弧申請書とエビデンスとノート突き合わせ結果の抜き取り確認ってというのは、それ場所に行って、このちょっと第三者の人もやるっていう話ですかそれともチェックシートの確認を行って、
0:51:51	日本原燃鈴木です。そちらについては第三者が実際に申請して美田数を確認しにいくと。
0:52:01	第3、第三者的に確認するということを考えております。
0:52:04	規制庁とねなぜ1ヶ所に集められてないけど第三者の人はそれぞれの場所において各社がやらなければいけなかったことと同じことを、全数はやらないけど1人でやりますよってというのが一番、三つ目。
0:52:19	人間のスズキでその通りです。
0:52:22	状態です。なぜ、一番最後、上の二つは何か言いますよみたいな感じだけど、3番目が一応、今回の原燃の対策では、
0:52:44	規制庁タケダってさっきみたいにさぼってたりする人がいないように見えるんだからなんていうのを見て事前にある程度プレッシャーフェアの方になり、かつ実際に抜き取りもしにくかったので、3番目やることで精度が上がるんですよっていうところが一番大きいと思っていいんですかね。
0:53:03	日本原燃鈴木でその通りです。
0:53:06	ちょっと、3番目の意図はわかりました。
0:53:12	規制庁、深見です。
0:53:14	コサクです。ね、すみません。今の話でいうと自分もちょっと見間違えかけたかなと思いつつ見間違っていなかったんですけど、エビデンスとの突き合わせ結果の抜き取りって言っちゃうと、
0:53:28	結果って何っていうとチェックリストでってなっちゃうとチェックリストを抜き取りで見ますと言ってるように見えちゃうので、
0:53:38	記載が違ってるとかなと思いますけど。
0:53:42	すみません。ちょっとそこをすべてしゃべる運営して認識共有させてください。私の認識は、1からもう1回何かサンプルで見るのではなくて、それぞれ作成者にチェック者や、

0:53:56	現地で見ると、ただ、そのチェックの仕方が、今回は表紙を一つ入れてやられてるだけで、やっぱり本当にいたかどうか疑わしいようなマイリスだったの
0:54:07	は、こういうふうにしっかり例えば数字であれば一つ一つの数字にちゃんとチェックが打ってなければならぬといった、そういったことがされてるかっていう確認をしようという思いで、突合せかというふうに
0:54:19	いただきました。ちょっとすいません。
0:54:21	10回は取れておりませんでした申し訳ありません。
0:54:26	規制庁コサクです。
0:54:30	原因分析をして、対策立案した方、本人は今この場にいますか。
0:54:41	日本原燃都築です。参加しております。
0:54:44	コサクですけど、その方をどういう認識で、
0:54:49	対策立案してるんですか。
0:54:55	日本原燃鈴木です。
0:54:57	ところまだ確定してないところもあるので、すいません。一緒です。確定している情報家と何か言ってなくて、立案者の考えはどういうことですかって聞いているので本人が説明してください。
0:55:11	五味都築です。ここはですね申請図書等、エビデンス
0:55:17	やってることを、
0:55:19	確認するという意図で、私はちょっと鍵がコサクです。ごめんなさい。
0:55:25	これはスズキさんが立案されてるんですね。
0:55:30	日本原燃鈴木です。その通りです。
0:55:33	はい。補足です。今回答がちょっとよくわからなくて、やっていることを確認っていうのだと、
0:55:44	具体的に何を見るっていうことなのかわからないんですよ。立ち会うと言ってるようにも聞こえるし、チェックリストを見るというふうにも聞こえるし、
0:55:53	物を見るというふうにも見えるし、
0:55:55	どれですかって聞いてルート期にそれを直接答えてないのは何ですかね。
0:56:06	日本原燃鈴木です。

0:56:10	すみません、うまくちょっと説明できないので、もう一度ですね、対策立案した9メンバーとちょっともう一度認識をさしていただきたいと思 います。すみません。
0:56:22	今の回答っていう、古作です。今の回答でいうとスズキさんは立案者じ ゃないということですよ。
0:56:27	立案者のメンバーのうちの1人かもしれないけど、
0:56:32	立案者だったら自分は降雨いう思いで立案をして、こういうふうによっ てもらいたいと思ってますと、ただ、まだ上司とかの了解を取れてませ んけどということでやってっと思ってたんですけど、
0:56:44	ぜ、立案内容がちょっとメンバーと、とかっていうことだと、本当の立 案者じゃないと思うんですけど、
0:56:56	日本原燃鈴木です。そうですねメンバーの中でちょっとせ話をしてくださ い、決めたことになってますので、
0:57:07	ちょっとメンバーでもう一度ですねすり合わせをしたいと思 います。古作です。すり合わせというか、当然その認識が合うような表現をして、 上司のクリアをとり
0:57:20	品質管理への委員会なりにかけていただくということが大事だというの はそれは先ほどその手順が不明確ですよ、様式がはっきりしてません よね、指示ができてませんよねっていうのと一緒なんですけど。
0:57:32	とはいえですよメンバーと認識がずれていたとしても、一番最初の問題 提起。立案者というのは、自分はどう思ったかっていうのを説明できな いなんてありえないですよ。
0:57:46	だからスズキさんじゃないんでしょって言うんですけど。
0:57:57	日本原燃鈴木です。私はですねまだ社内的に合意はないですけども、
0:58:04	この今回の事例を見るとですね、やっぱりしっかりと形式的なチェック になってたので、申請書等エビデンスが、
0:58:13	1個1個ですね、確認されると、いうことを、ものと、
0:58:18	申請書実物とエビデンスを、
0:58:23	比較してチェックをするということを抜き取りでやりたい、やるという ことで、考えて立案をしました。
0:58:31	はい。補足です。自分としてはそう思って立案し変えて、行っていたん だけど、そう思っていない人がいたということを今気づいたので、改めて

0:58:43	こういうつもりだけどいいかというところをクリアを取っていかないと、社としての方針にならないという、いうことを今回理解をしたってことですかね。
0:58:53	日本原燃スズキでその通りです。
0:58:57	はい。補足です。結構原燃の資料ってそういうのが多いんですよ。
0:59:02	この場でそれんまま素通りしてきて、我々がわかんないから質問をして、こういうように発覚をし、
0:59:11	適正化していきますっていうことが多過ぎるので、
0:59:15	そういうことからすると、クリアプロセスのそれぞれの人たちがちゃんと話し合いをしていないっていうことが、これもまた一つの大きな原因の一つだと思うんですけど、いかがですかね。
0:59:33	日本原燃都築です。
0:59:35	おっしゃる通りですねそういうところがあると思いますので、
0:59:40	再発防止対策については、
0:59:42	を確認してですね、立案していきたいと思います。以上です。
0:59:47	はい、古作ですよろしくお願ひします。で、まだまとめルールのには早い事例の議論なんですけど、ここまでのところで言ってもですね。
0:59:59	今まで話したこと全部、第1回の申請書での不備があり是正を図りますといったときにすべて話をしていることなんです。
1:00:14	それはご理解いただけてるのかいただけてないのかがちょっとよくわかんないんですけど、どんなもんですかね。
1:00:33	日本原燃佐藤です。すいません。理解はした上でも、再発してしまったということで、
1:00:40	ちょっとその辺りは
1:00:45	当時の検討が足りなかったし今現在もちょっとご説明してる中でいろいろご指摘いただいて、本当に全然検討が足りてないなということには、改めて認識いたしました。
1:00:55	はい。補足です。第1回で話をしててこういう原因がありますこういう足りないところがあります、こういうふうにちゃんとやりますと言っていたことが、
1:01:06	改めて出てきているのだから、
1:01:08	振り返ってその原因は潰せてたのか。

1:01:12	対策は有効だったのかというのを一つ一つチェックをするということがまずないと、0から何となく要因分析やってみました、対策考えてみましたということじゃないと思うんですよ。
1:01:26	で、第1回話してるのも対応付けてくださいねと前回お話ししたにもかかわらず、そういうことが書かれてないのでまた同じこと言わなきゃいけないようになってるんです。
1:01:37	なので、次の段階でわあ、再発だという認識のもと、どう対応続けているのか。
1:01:47	で、やっぱりできなかったということは、追加でどう対応しなきゃいけないのかと。
1:01:52	いうことを言っていたかないといけないかなと思ってます。
1:01:57	2ページにある再発防止対策の一つ目も、
1:02:02	これも第1回で行っていてちゃんとスケジュールを、実態に即したスケジュールを引かないと、いつまでたっても終わらないし、
1:02:13	余計に時間がかかるよという話を、2年間かけて話をしてきたと。
1:02:19	いうことで、
1:02:21	しかもこれ申請前に私はそれを念のため申し上げて、第2回の申請はそういうことにならないようにしっかりと検討のうえ提出してくださいというのを会合で申し上げたはずですよ。
1:02:33	それをしますと宣言しておきながら、執行役員が宣言しておきながら、
1:02:39	約束を反故にして、チェック時間を見積もりも立てず、
1:02:44	機器もせず、
1:02:46	与えず、
1:02:48	出せとだけ言ったと。
1:02:50	いう資料になってますから、全くもってお話にならないと。
1:02:55	いうところだと思います。
1:02:58	なので第一課に言ったことを一つ一つちゃんと振り返ってください。
1:03:10	日本原燃佐藤です。はい、承知いたしました。
1:03:23	その他規制庁側から確認事項やコメント等ございますでしょうか。
1:03:31	規制庁コサクですちょっと資料を粹、会合で説明いただく際についていうことなんですけど、
1:03:40	先ほど上出が言ったように、2ペイジー、まず一番下で

1:03:45	おかしいよねっていうのはあるんですけど、問題点で並べて対策っていうのはいいんですけど、そもそも事象って何なのっていう理解が、
1:03:56	つかないと意味がなくて、それでいうと、2ページのす、二つ目の矢羽根2、4ケースに大別されでしかないわけですね。
1:04:07	なんですけど、この中に先ほど言ったようにその様式としての整理が不十分で理解が十分展開できてなかったという問題点があるものと、
1:04:17	す。
1:04:18	単純にチェックが漏れてたということということで、いろいろ関係性があるんだと思うので、この記載俺っていうのの中に、実例としてこういうのとかいうのとかいうの。
1:04:29	記載誤りとしてこういう行為の行為の、
1:04:33	落丁はまあいいと思うんですけど、体裁文っていうのに、いくつかパターンがあるんであれば、こういうのというの具体ノース先ほどポンチ絵的なと言いましたけど、マスキングにならないようなところで内容のわかる。
1:04:48	資料をつけていただいて、
1:04:53	その時に、
1:04:55	それに関係する問題点だったり、それにねそれに対応する対策だったりっていうのも、図に付記してもらったほうがわかりやすいのかなあと。
1:05:07	思いますので、
1:05:10	そういうのを後ろにつけていきつつも問題点。
1:05:15	それを集約するとこういうことであって、対策としてはこういうふうになってきますよという、この表としては、全体像をちゃんと漏れなく示すと。
1:05:26	0とかじゃなくて、示していくということで対応いただきたいと思いますが、問題点要因とかっていうのもちゃんと関連性がわかるようにただこう、それぞれ羅列するのじゃなくてですね。
1:05:38	関係性を見せていただきたいと思います。
1:05:47	日本原燃都築です了解しました。
1:05:51	はい。補足ですよろしく申し上げます。何でかっていうと次の要因分析には対策中まであるのに、
1:05:57	さっきのページでは対策三つしかないと。

1:05:59	ということなのはありえないってということなのでもしまとめるんだったら まとめるでこれは、次の図の対策の何番と何番ですとかっていうこと で、関連付けていただければいい。
1:06:11	いいと思いますけど、いずれにしても網羅した形にしてください。
1:06:17	日本原燃都築です了解しました。
1:06:26	その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:06:31	コサクですいません。もう1点だけ、これも前回言いましたけど、耐震 の例だけじゃなくて、他に問題があったならどんな問題があったかを示 すようにと。
1:06:45	いうお話をしています。で、19ページには溢水とかっていう、これは本 文側の話ですけど、
1:06:56	その後、21ページにワー強度関係。
1:07:03	ということ。
1:07:05	ついていると。
1:07:07	いうことで、後ろにペタペタとそれ以外のものも貼ってきてはいるん ですが、これだとやっぱり全体像が分かんないので、先ほど言ったこれ、 4、
1:07:19	ケースのうちそれで受けたいと言ってる中に、どの書類にどういうもの がっていうのも、わかるようにして、全体像、あと、累計にどれぐら いのミスがあったかっていう数も含めて、整理をしてください。
1:07:39	日本原燃鈴木です了解しました。
1:07:52	その他規制庁から確認ございますでしょうか。
1:07:58	よろしければ原燃の方から、すいません。はい。
1:08:02	規制庁岸野です。ちょっと1点2点だけ教えてください。資料の6ペー ジなんですけれども、
1:08:09	右下の方に問題点D-3という、東が許認可業務のところから出てます けど、
1:08:16	これは市が間違えてるんじゃないかなと思いますが、正しくはどこにさ す、どこを指す引き出せるのかまず教えていただけますか。
1:08:27	日本原燃鈴木ですいませんちょっと聞き取れなかったらもう一度しま す。
1:08:31	はい。すいません。聞こえますかね。6ページなんですけれども、
1:08:36	規制庁キシノですね。

1:08:40	ですから、
1:08:42	はい。
1:08:43	6 ページ右下の問題点、D-3 という吹き出しは、
1:08:48	許認可業務課から吹き出し。
1:08:50	がついてますけど、正しくはどこでしょうかというのがまず、
1:08:55	1 点目の質問です。
1:08:58	日本原燃都築です。こちらの問題点はですね、
1:09:04	何か業務課から各施設課の方に、
1:09:07	後に、申請書の区長だとかで構成が、
1:09:12	間違っていないかっていうところを確認するということで、その時間がなかったということで今ちょっと許認可業務間のところに入れております。
1:09:21	清町の岸野です。吹き出しの中身で主語は、作成担当替わってあって、先ほど鈴木さんは、作成担当課っていう各施設課のことを指しますとご説明なさっていたので、
1:09:34	吹き出しをつける場所をここじゃないんじゃないかなと思ったんですけど、わかりました。新しいとすると許認可業務課の問題ということのようにも読めるんですが、正しくはどうなんですか。
1:09:46	正しくはですね許認可業務カーが合本した後に、各施設課の方に依頼をするんですけども、そのときに、
1:09:55	落丁が確認できなかったっていうことなので、いわば矢印の 1 をですね、各施設課の方にしたいと思います。すいません。
1:10:05	成長の記述は、単に間違えということなんですけど、ちょっとわからないのはここに何らか許認可業務カーにも、問題点が、
1:10:15	だからここに書いたという意図ではないということでもいいんですか。
1:10:22	はい。日本原燃都築です。
1:10:23	すいません。に間違っただっていう認識し、認識しました。すいません。
1:10:29	すいません。
1:10:30	すいません規制庁カミデです。ここ。
1:10:33	12 月 24 日です。12 月 25 日までの間に、
1:10:41	なんて担当して、作成担当かそんなチェックしなきゃいけないのか。
1:10:46	この日見てないから、作成担当課が悪いんですっていうのは、余りにもかわいそうな気がするんですけどいかがですか。

1:10:54	日本原燃佐藤です。すいませんこれ1種の矢印でも実態のことを書いてまして、何、許認可業務課で合併をした後に今度は矢印を一応別にして矢印を出して、
1:11:09	たくさんたんと作成担当課が、落丁がないかとか、確認するという、そういうもちろん機会を設けて、それで初めて品証チェック安全委員会というところにやるべきだったのが、それ自体がおっしゃる通り24日でもできもしないので、
1:11:23	そこはやってなかったというのが正しくて、だから吹き出しも、各課から出るのではなくて、ちょっと興味の方が今出てるというそういうふうになってます。
1:11:34	理由としては当然、期間を設けて、かかりまわして、下のところで確認するというのが野瀬清でございます。
1:11:42	規制庁神です。事実関係としてはおそらくこの期間に取りまとめかは、多分、
1:11:49	出したんでしょう。確認依頼は、とはいっても出してはいるけど、もう無理な、
1:11:56	それこそ形式的というか、無理に無理難題としてな投げつつ、時間もどうせ見れないだろうということもわかりつつ、投げては、
1:12:07	きたんだけどそのあとの先のプロセスにも進めてしまったと。
1:12:11	いうところに何か問題点があるような感じだと思うんですけどそんな感じですか。
1:12:16	日本原燃スズキその通りです。
1:12:19	古作です。すいません。
1:12:22	ちょっとですね、原因分析の方まで入り込んでこちらコメントしちゃってるので、
1:12:28	事実関係として引っ張るのはまずここで、そのあと原因分析としてこう出しますというのはあってもいいと思います。
1:12:35	一方ですみません。
1:12:38	落丁発見できなかったっていうのはありますけど、落丁してしまいました。
1:12:44	ちゃんと合本できなかったっていう入口はないんですか。
1:12:50	2本ぐらいのスズキです。その辺はですね学長という分類したところで、要因分析の方を挙げてまして、

1:12:59	ごめんなさい、ローガン要因分析図は別で、これはフローの中から問題点を挙げるとい、
1:13:06	ところで問題点挙げた上で要因分析すりゃいいと思ってんですけど、やること違ってます。
1:13:13	兵庫県の都築です。そういう意味ではですね、今の時系列のところの問題真ん中のところにあります問題点のD-1と、
1:13:24	の日程と小寺区長の問題点を挙げております。
1:13:29	古作です。
1:13:33	そうだとすると、D2とDさんが何でこだけ離れてるかっていうのは、
1:13:41	何かのスズキです。データの3のところ、最後ですねチェックをするときに、最後にもう一度ですね、チェックをする期間を、
1:13:52	今のルール上持ってたのでそこでも築けるだったんでただその時間が今回とれなかったんで、そこに問題点を挙げたということになってます。
1:14:04	規制庁コサクですけど、ちょっとよくわかんないんですけどこの図でいうと、3回も合本チェックがあったにもかかわらず、
1:14:15	どれでも引っかけからずミスをしてしまったと、いうことなのか。
1:14:20	一つ目二つ目はよかったんだけど、三つ目の時の合本作業で間違っ、それを見つけられなかったということなのか。
1:14:30	事実関係がちょっとよくわかんないんですけどどうなってます。
1:14:36	日本原燃鈴木です。日最初のDワン等、議員井手落丁が見つけれなかったということ。
1:14:44	が主な学習の原因になっております。
1:14:47	古作です。何年のため確認ですけど今回落丁した場所は、いつ落丁したかということ一番最初の22日の巣DワンDIIの場所で発生したということですね。
1:15:00	日本原燃鈴木でその通りです。
1:15:02	はい。補足ですとそうすると、3回もチェックするタイミングがあったんだけど、全部チェックできなかったということですね。
1:15:11	日本原燃鈴木でその通りです。
1:15:15	はい。
1:15:16	コサクですとそうすると、結局、合本チェックなんてしてなかったんでしょってということですよ。

1:15:25	録画手続きです。
1:15:26	結果的にそうなってます。はい。補足です。
1:15:30	なので、先ほどカミデわあ、作成担当課に言うのも酷でしょって。
1:15:37	言いましたけど、
1:15:39	国でもないですよねというか、本来やるべきものを時間与えられなかったっていうのは、要因分析で、原因の方から出して行って対策を講じられるってことでいいと思うので、
1:15:51	やる、やるタイミングのところがどこだったかというのは、明確にした方がいいんだろうなと。
1:15:57	いうふうに思います。そうすると、最終はここですけど、
1:16:02	問題箇所と言えば、この3ヶ所全部ですよ。
1:16:08	日本原燃鈴木です。その通りです。
1:16:11	はい。三つ画のカー、吹き出しの無
1:16:16	副場所を三つやって1ヶ所に集めて書くのかは、書き方は自由だと思いますけど、そういう事実関係わかるようにしといてもらえますか。
1:16:30	日本原燃都築です。了解しました。
1:16:35	規制庁神です。
1:16:37	今のやりとりで鈴木さんは一応チェック、
1:16:41	カー止端してたんですみたいな話でしたけど、最初はチェックリスト等、
1:16:47	の話とかした時には合本よう作業より前にチェックリストを起こしててっていうことで、
1:16:53	この24日とかのタイミングの作業ではチェックリストも残ってないようなチェック。
1:17:00	やってたとしてもそんなものだと思ってるんですけど、事実関係としては、
1:17:08	100円スズキすみません、ごめんなさい、古作ですけど、カミデ君ちょっと認識がずれてて、
1:17:14	さっき言った内容的にちゃんと書いてあるか、エビデンスと整合してるかっていうチェックは、20日よりも前にやるー内容っていうふうに私は理解をして、
1:17:27	いたんですけど、鈴木さんどうでしょうか。

1:17:30	日本原燃鈴木です。申請書とエビデンスのチェックは、合併の前にやるので、チェックした後に作業してその合本作業したときに、
1:17:42	今回のデイワンとD2の問題点が出てるといことです。以上です。
1:17:48	はいコサクですっていうとこのフローでいうどの場所でさっきのチェックの話が出てきますか。
1:17:55	辨野都築です。これでいくと各施設課の
1:17:59	宇井大きい枠で内容確認原案チェック。
1:18:05	というところで、チェックシートを使ってのチェックを行うということになっております。以上です。
1:18:16	規制庁コサクです。
1:18:18	で、という22日のことですけど、これもう、
1:18:22	かなり突貫であって、とてもチェックそんな突合作業をする余裕ある状態じゃないよねって思うんですけど。
1:18:32	一方で、今回のやつの問題点の多くはその前の、
1:18:38	ピンク色の表で書いてあるようなところで、大幅修正を慌ててやったと。
1:18:44	いうところろうでの問題もあって、
1:18:52	それまでに、この表の一番上の方ですね。
1:18:59	各メーカーが解析評価をし評価結果を受理し、計算書を作成し、と。
1:19:07	いうところで12月いつカーのところまで、線が引かれていくという中ではそういう突合のチェックってやってないんですか。
1:19:23	抜けれスズキです。今回の耐震上ですね、チェック自体は申請書の形になったのが、申請書の直前の22とか、その後になってましたので、
1:19:35	第2回の設工認の紙申請書としては、二次、5日、12月5日ですかね、そこまではやれてないということで確認しております。
1:19:45	古作です。そうすると突合なんかできるわけがないのに突合しろと無理なんだよ
1:19:52	無理難題だということだからもうやらねえよと言って、ダミーのチェックリストを作ってまわしたってということですかね。
1:20:06	本来スズキです。す。その通りになると思います。
1:20:11	はい。コサクです。一方でですよ。
1:20:15	私が現場的なイメージで言うと、

1:20:19	半分そういうことかなとは思いつつも、でも、いつカート可能、もともとの計算書を作っている中でエビデンスチェックはしていて、
1:20:30	もうしているから、
1:20:32	各場所をずらすとかっていただけなので、エビデンスチェックまでは要らないよなと思ってしまったっていう、現場感覚は何となくそうだろうなっていう気が。
1:20:44	するんですけど、そういうことはないんですかね。あくまでやっぱり、形式的には確かに菅鮮新統チェックしなきゃっていうことかもしれないけど、
1:20:56	そのあたりはどういう状況だったんでしょうか。何か抜き出す場所が部分的に違いましたってのは明らかにおかしいんですけど。
1:21:04	日本原燃鈴木です。今回の不備の聞き取りをする上ですでですね、11月、この11月位までに一旦申請上取りまとめてそのあと、
1:21:14	書類の構成を変えるってこともあって、その前の段階でエビデンスチェックまで終わってたということは確認をしております。以上です。
1:21:26	はい、古作ですまずその事実関係とかは、明確にしといてもらったらいいとは思いますが最低限現場の気持ちをうんと図ると。
1:21:36	やってなかっただけ言われても、っていう気がするので、一方でその書き換えたときに、それに応じた適切なチェックがなかったというのはしょうがないところだと思うので、
1:21:50	はい。事実関係がちゃんと整理をしてということで、そういったところも、
1:21:55	明確にしていただければと思います。
1:22:02	日本原燃鈴木です。了解しました。
1:22:10	コサクですそれで、
1:22:12	前も言いましたけど、QMS上どうなったの、それとの対応関係どうなのという資料になってないんですけど、そのあたりはどうなってんでしょうか。
1:22:33	日本原燃鈴木です。一応そこを意識して書いてるつもりなんですけども、
1:22:40	食ったり何か具体的に教えていただき、ありがたいところではあるんですけども、じゃあ具体的にコサクですけど、QMS上どういうふうになってたかを、ここでどう説明してるのかを説明してください。

1:22:56	日本原燃鈴木です。
1:22:59	ジェームス上は、申請書を作る段階で、エビデンス等、
1:23:04	成長合わせをですね。
1:23:08	照らし合わせてチェックするということになってたんですけども、コサクでは、それはどこに書かれてるんでしょうか。
1:23:18	そうですねすみませんそこちょっと。
1:23:20	ウェブ上の部分と書いてないんでそこを変えたいと思い、書きたいと思います。
1:23:24	ありがとうございます。
1:23:25	はい、古作です。今の入口でそう言いましたけど、全プロセスそういうところがあって、どうあるべきだったかがあり、それを後どう運用したかでありその差分で問題はなかったのか。
1:23:39	プロセス上のミスはなかったけど、運用で、内容がちょっと漏れましたのか、っていうその程度感が全然違いますので、まず、どうやることにしてたかっていうのわかるようにしてください。
1:23:57	2本目のスズキです。了解しました。
1:24:10	その他確認事項はございますでしょうか。
1:24:18	よろしいでしょうか。それでは本件につきまして原燃の方から振り返りをお願いします。
1:24:24	日本原燃都築です。振り返りとしましてはまず、
1:24:31	いずれ加えました、日次+二次応力のところの時、疲労評価の結果が抜けてたという、記載のところに辻について、
1:24:40	一応ですねこの部分について時系列を整理して問題点を洗い出して悪さ加減を明確にして、
1:24:50	対策が必要であれば追加をしたいと思います。
1:24:54	あと申請書のほうについて一番に、2枚目の資料として、前日の共通というふうに記載しているところについては、1事例を書いているんですけども、ここの共通的な事象がどういうものであったのかというところを記載していきたいと思います。
1:25:09	事象としてポンチ絵的に、事象を四つのケースですね、記載漏れ記載誤り、区長を
1:25:19	様式不備という形で、四つのケースの事象例を、等の例をポンチ絵的に作って、示していきたいと思ってます。

1:25:31	あとは、1回の
1:25:34	1回の申請のところの再発対策ですね、こちらの振り返りを確認して、記載をしていきたいと思います。
1:25:44	それとあとは、
1:25:48	等耐震関係のところの時系列において、11月までの申請書については、申請書の構成を変えた前まではチェックを、エビデンスとチェック終わっていたというようなことも事実も
1:26:03	資料の方に合わせて記載をしていきたいと思っております。
1:26:10	以上です。
1:26:14	はい。ありがとうございます。今の説明で傾聴側からコメントあればお願いします。
1:26:20	すいません日本原燃都築ですともう一つ資料上に、QMS上どうあるべきかというところが抜けてますのでそちらの方も記載をしたいと思います。以上です。
1:26:32	コサクですけど、
1:26:35	要因分析図の次につけられている。
1:26:40	時系列のところでは、
1:26:45	チェックのエビデンスチェックのところだけで言われたような気がするんですけど、それ以外の合本のチェックとかも含め、事実関係を全部わかるようにちゃんと問題点、
1:26:57	書いてくださいねということをお話してるので、言われたところ、限定をせずに、全体として適切に表現されてるか。
1:27:07	いうのを確認をしてください。
1:27:14	日本原燃都築です了解しました。
1:27:20	規制庁カミデです。最初の説明の一番最後っていうんですかね、何か耐震は11月時点ではちゃんとエビデンスとの突合が終わってたっていうのを記載しますっていう。
1:27:33	言っていましたけどそれってどういうやりとりの中って出てきた話でしたっけ、ちょっと私があんまりイメージできてないんです。
1:27:44	日本原燃鈴木です。11月までできてたっていうのは、ですね12月5日の時点で、
1:27:53	12月5日から、

1:27:56	何かの最終補正から第2回シスの設工認申請書をつくるというふうになったときに、前提として、
1:28:06	これまでに審査状態を作り上げておいたんですけども、
1:28:10	この次、12月の月上旬あたりに、申請者の構成をですね、
1:28:18	明らかになりましてそれまでの申請でどうだったのかっていう話はですねコサクさんと話したときに、それまでは、申請書は、
1:28:26	作り上げてたものがあったので、そちらについても、申請書のエビデンスのチェックはもう終わったという事実がありましたので、そちらの方を、
1:28:35	話でいいかというところでございます。
1:28:40	規制庁、パパBS、
1:28:43	今日の資料でいうと、例えば16ページとか、
1:28:47	なんですけど、
1:28:49	もともとで突合終わってれば、
1:28:52	ていう感じもしますけど、
1:28:55	どういうことなんですか。
1:28:57	バラッと書きちゃったからってことですか。
1:29:01	日本のスズキです。そうですね計算書関係のところは、
1:29:08	建屋単位で資料まとめているところを、設備単位にまとめるっていうような形で、
1:29:14	構成を見直したので、そこでし数値とかですね、値を12月上旬から市へ資料の修正を詰めたというふうになってます。
1:29:26	規制庁神です。何かよくわかんないですね。
1:29:31	印象かな。
1:29:33	10ページ。
1:29:34	にしますか、10ページってだってこれ、
1:29:39	音がちゃんとしてればこんなミスは本来行わないし、
1:29:47	何だろう。
1:29:49	入れる数字が違うってこと。
1:29:51	そもそもなぜその誤った数字がこの枠に入ってること自体がよくわからないんですけど、これは引っ張り先が間違ってたってことですか。
1:30:06	日本原燃鈴木です。持ってくる値は合ってたんですけども、疲労評価の結果が抜けてたっていうものになってます。

1:30:19	規制庁神尾です。とりあえず、もういいです。はい、わかりました。高久ですけど。なので、その様式変更があったところが、抜かなかったところなのかということでもう、
1:30:32	違いがありますし、先ほど言ったようにまとめかたの。
1:30:39	まとめ方を変えるということで場所を移動するといった時の作業の仕方によっても、
1:30:46	前は大丈夫だったけど、
1:30:48	その作業によって間違えちゃいましたということも発生しうらと思うんですね。
1:30:53	一方で元から間違っていましたということもあるんだと思います。
1:30:58	その辺りをちゃんと整理しないと、本当の悪さ加減というのがわからないよということです。もともと間違ってたっていうんだとすると、突合の仕方が悪い。
1:31:08	或いは突合を本当にやっていない。やったと言いながらやってないと。
1:31:12	いうことであっていうことで、悪さ加減の場所がわかってくるということだと思うので、ちゃんと分析をしていただければと思います。
1:31:23	日本原燃都築です。了解しました。
1:31:27	規制庁小峰です。
1:31:29	あとは、耐震のところでは星野さんがフォーマットを、この資料でも説明してますみたいな話を今調べてくれてるのかなと思いますけど、その結果の話とか、
1:31:46	はい。日本原燃です。日本原燃星野です。
1:31:49	すいません私の発言がちょっと間違っていたようで、1月以降で説明した内容に、疲労評価の書き方のところを記載しておったと思ったんですが、ちょっと確認したところ、そういった記載のところはちょっと見、
1:32:04	見当たらなかったもので、訂正してお詫びいたします。
1:32:10	規制庁カミデです。訂正はいいんですけどお詫びは結構ですしなくていいです。で、
1:32:16	どうでしょうかってことなんですけどそういう話をした、今日の話の結果、何か先にまたフォーマットとして話を聞かないといけないのかなっていう気もしてるんですけど。

1:32:29	一方で、もうすぐ修正版の別所ん出ますからそれを見てくださっていいんですけど、その事前に何か話を聞く必要等ありますか。
1:32:40	はい。日本原燃星野です。先ほどの時系列の整理とあわせてですね、
1:32:46	炉側の方の記載がどうなってるかと、あと、12月時点での記載がどうなっていたかと、現在こうしようと思ってるものと、あと今日お話いただいた内容でこういうふうに変えたらどうかといったところのフォーム
1:33:01	中身についても、あわせてご説明させていただければと思います。
1:33:07	はい。規制庁神です何らかホームの話をするっていうのは、了解ですって。
1:33:13	どういうところを説明項目にするのかっていうのは私はまだちょっと理解できていなくて、フェローと全部出されても、隅々まで見てコメントくださって言われても困っちゃうなど。
1:33:24	思うんですけどじゃあどうやって論点を絞るのか、のと違うところだけやればいいのかっていう気もしますし、ちょっとその辺り私はまだイメージができてないので、
1:33:35	またAsanoヒアリング時でもこういう感じで、論点を絞ったものを出そうと思ってますみたいな話を聞かせてもらえると助かります。よろしくお願いします。
1:33:48	はい。日本原燃星野です。承知いたしました。
1:33:53	はい。規制庁深見です。あとはもう、私はほぼ以上ですけどあとは、そのスズキさんも、
1:33:59	当時はあまり関わっていない。何か今、対応していろいろ大変だと思うんです。で、どういう悪さ加減があったのかって調べるのも、1人では大変でしょうし、その辺は実際携わった人。
1:34:16	ちゃんと。
1:34:17	をしてもらって
1:34:20	ちゃんと抱え込まずに仕事ができるように、マネジメントの層の方もですね、ちょっと気をつけてもらえればと思いました。私から以上です。
1:34:32	元サトウです。はい。承知いたしましたしっかりマネジメントさせていただきます。
1:34:41	規制庁は何かございますでしょうか。
1:34:47	よろしいでしょうか。
1:34:49	衛藤。それでは先生表不備については、以上とさせていただきます。

1:34:56	ヒアリングから1時間半、40分ぐらいになるんですけど、
1:35:03	あ、わかりました。
1:35:05	ソールでは、すいません、ちょっとこちらの都合もあるんですけど、引き続きヒアリングを続けたいと思います。
1:35:13	次のテーマですね、共通12、こちら、日本原燃の方から説明をお願いいたします。
1:35:23	はい。日本原燃清水です。
1:35:27	共通12についてご説明させていただきたいと思います。まずは、本今朝のヒアリングでご指摘がありました。
1:35:37	共通中に今後どう進めていくのかといいますか上現状の認識も含めてちょっとご説明させていただきたいと思います。
1:35:45	共通12の現在の状況といたしましては、
1:35:50	全体の整理の進め方というところをですね、
1:35:55	飛来物防護インターを題材にしながら、3日であったり3月7日であったりっていうので、具体的なこういうツールを使ってこういう情報を載せてというところの、いろいろご議論させていただいている状況でございます。本日も、
1:36:11	そのいただいている内容に対する対応方針というのをちょっとご説明したいというのが今の現状のステータスでございます。
1:36:20	本日、すいません、今月の末に予定されてます会合はどうするのかという点なんですけども、
1:36:29	今、今現在はそういう状況だというふうな認識を持ってございますので、まずは、その全体の設備に展開するための共通的な作成方針というのを、
1:36:42	この3月の中でしっかり詰めさせていただいて、
1:36:46	これを今後すべての機器に展開していくと、しっかり構造説明ができますというところまで持っていきたいと。
1:36:54	いうそういう状況のところをですね、しっかりご説明させていただきたいと思っています。で、それを踏まえて、4月に向けて、具体的なもので、グ構造をしっかりご説明してって、
1:37:06	ご説明できたものに対して週末の会合で、ご報告させていただきたいというのが今の現状の認識でございます。
1:37:21	はい。江藤それでは規制庁側から確認あればお願いします。

1:37:25	はい、規制庁の加地です。今のご説明は、結局防護板は部隊まで説明他に関してはその時間以降にまずまたは動いたに関してやってそれ以外は自治会自治会報にしたいんですっていうのが説明ですか。
1:37:40	すいません。日本原燃シミズちょっと説明が悪くて申し訳ありません。今回は、まずは、防護板を題材にした交通的な整理の仕方、
1:37:53	ご説明させていただきたいと思っております。
1:37:57	理事会で衝撃全般の構造の概要、内容の方を説明させていただきたいということと言いたかったというところでございます。
1:38:09	今日の2人です。
1:38:11	共通のなっているのは中身に入らないっていうお話ですが、いや、前回も局的な話、共通の話が少し進んだんですって話ですけどやりたいって言ってんですかね。
1:38:24	はい。日本原燃清水です。
1:38:27	前回の会合でご説明させていただいた内容を具体的に展開するにあたって、もう少しいろいろな決め事なりを整理しなければならないという認識のもと、今の今月の対応をさせていただいていると。
1:38:44	いう状況ですので、
1:38:47	湯田次長説明方針の具体のところの進め方のところをご報告させていただくという認識でございます。
1:38:55	清澄たりですね、防護板は、
1:38:58	中間覆土ぐらいあるんですけど、物がいっぱい出てるような形になってるんですけど、これは中身の議論まではいけないっていうのが今まで原燃の考えなんですか。
1:39:08	日本原燃清水です。
1:39:11	衛藤。
1:39:12	具体的なご説明の方は本日以降のご説明になるという認識でございます、そのえーとですね。
1:39:22	御説明の日程をの確保がですね、ちょっと来週いっぱい終わるのかっていうところが、現状厳しいという認識でございました。
1:39:35	生協、谷です。
1:39:37	21日休みではあるんですけど、まだ3週間ぐらい、2週間半ぐらいある中で今の発言されると。

1:39:46	ただ4月のやつ今時点で説明できてないですから、亀田月ぐらいのスケジュール感になっちゃうんですけど、
1:39:52	うん、いや、だから、結果間に合わないのがやろうかなっていうのもわからないんですけど、こっから先会合まで大体聞くやつは4月に説明するって話なんですか。
1:40:03	日本原燃志田でございます。ちょっとやりとりがかみ合ってなくシミズの説明がちょっと中途半端なので、補足をさせていただきます
1:40:12	共通住民として、どういう説明の組み立てをして、具体の構造の話につなげるか、その実際の構造の話ってのはどういうものを使って説明をしていくのかと。
1:40:27	いう話をするためにはですね、具体の図面なり、構造の説明がないとそこには行き着かないと思ってますので、そのために5番の話を用いて説明を展開させていただきます。
1:40:41	そういう意味ではその過程で当然本の話も説明をしなきゃいけないと思いますので、審査会合に向けてやりとりをさせていただくつもりであります。
1:40:53	ただ設計の善し悪しも含めては審査会合に、主力のお話をするとは思いますが、どこまで、必要な図面なり何なりかが使えるかというところで若干、シミズとして不安があって、
1:41:06	どこまでいけるかという、今の表現になったと思ってます。当然、審査会合に向けて必要な情報をつけてヒアリングさせていただくというのが、前提として前提としてさせていただこうと思ってます。
1:41:18	あと当然5番についての情報を全部警部補並べた上で、類型分類をして代表を選んで代表の説明をし、差分をどうやって示していくのかと。
1:41:32	いうところも、しないといけないと思ってましてそこがまだ全然整理できてないと思ってますので、そういうところもあわせて、ヒアリングの中では事実確認をさせていただこうと思っているところでした。以上です。
1:41:45	はい。規制庁谷です今石原さんが言われたように、何らかの例もなしに説明されても多分何も進まない形だと思っていて、また一番最後に余計な話もされましたけど、

1:41:58	その辺りでも今回、考え方は最低限説明されるんだと思ってないといったの説明を結局せざるをえないと思っているので、原燃として1回でいた壊れるかわかんないんですっていう意味で言うと、
1:42:11	1回終わらないんですよ、何かけたって。
1:42:14	ただ、1回戻してそろえた上で、会合にかけて指摘等を受けながらやってくっていう形だと思っているので、100%のものになるかどうかは別として、僕言った部隊に説明して、それが結果、
1:42:27	一連やってこうということがまず第最初のトップバッターだねみたいな形の位置付けになるのかもしれないんですけど、中身も込みで確認してくるものと一応認識しましたけどまずいいですかね。
1:42:41	はい。日本原燃清水です。はいその認識のもとで、対応させていただきたいと思います。
1:43:00	長シミズです。
1:43:02	が、これまでの図面に関してで、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:43:12	できれば、人が一つ中にます。
1:43:15	資料等説明スズキお願いします。
1:43:21	はい。日本原燃清水です。
1:43:23	はい。それでは共通中に、レビジョン4番ですけども、
1:43:27	令和5年3月9日に提出させていただいた資料について要点、ちょっと簡単にご説明させていただきたいと思います。
1:43:34	本資料としましては、3月7日のヒアリングにおきまして、修正方針の方ご説明さしていただいた内容、
1:43:46	老古美の方と、その時点、その際にあったご指摘を踏まえた資料の修正方針です。
1:43:55	具体的な資料のイメージを、5ページできていなかった点。
1:44:00	今回の商品を盛り込んでおりますので、その点についてご説明させていただきます。
1:44:07	まずは、資料をご確認いただきたいと思いますが、まずは通しページの方、
1:44:16	19ページの方になります。
1:44:20	こちらがですね、類型分類を、の結果をどう示していくのかという、7の情報量の方見直したものでございます。

1:44:30	基本的には、
1:44:33	前回ご説明した内容、
1:44:36	また月7日にご説明した内容を踏まえた具体のものということで、今回竜巻の例をつけさせていただいておりますけども、
1:44:45	各AからB1B4の分類。
1:44:49	さらにその設計項目の内訳というのを、このような形で図を示しすることを考えてございます。で、これの具体の形というのにつきまして、
1:45:00	具体の設備がどうなってるのかというエビデンスといえますか、そのにつきましては、
1:45:06	ソースページの方で、
1:45:10	78ページになります。
1:45:17	小さくて大変申し訳ありませんが、
1:45:22	78ページについては、基本のベースは、申請書に添付しております、申請対象設備リストでございます。
1:45:30	こちら、
1:45:31	2それらに対して、右側、条文の所、別の方をちょっと見ていただきたいと思います。
1:45:41	あ、失礼しました77ページの方お願いします。
1:45:47	はい。
1:45:49	申請書の設備リストの方では、該当する条文にマルであったり、変更がないところが三角だったりというところを示していたものをですね、
1:45:59	先ほどの別紙1の頭いいからB4E値B4の分類と、そういうのは、それのさらに内訳の設計項目の内訳に対して、
1:46:11	を取りまして、
1:46:12	それぞれの機器がどこその分類に当たるのかっていうのがわかるように、例えば、第6条ですけども、
1:46:22	対策設備については、A-Aと、
1:46:28	⑧。
1:46:30	まずさて⑥ですねすみません。田井っていうのは
1:46:34	紐づくような形で、当設備リストの方、記載の方、変更したものをこの別紙3という形でお示したいと。
1:46:44	いうふうに考えております。

1:46:49	はい。さらに、別紙3の中では、構造説明との関係を明確にするという ことで、
1:46:57	第8条の列になりますけども、
1:47:00	当該設備の構造説明をして説明する条文の別については、
1:47:05	この青のハッチングで対象。
1:47:09	を明確にするというのと、その主となる条文で、関連してあわせて構造 説明をする説明をする条文については、このオレンジ色のハッチングを かけて、
1:47:21	名称がわかるようにし、お示ししたいというふうに考えております。さ らにですねこちらの条文の方、
1:47:28	右の方行っていただきまして16条の方とところの部分を見ていただきた いと思います。
1:47:38	はい。こちらの16条のところですけども、
1:47:43	報道説明の説明にあたっては、前回もお話しさせていただいた通り、比 木力で説明するものと、
1:47:51	施設共通基本設計方針に対する構造設計の方は、別の整理表を作って、 ご説明したいというふうに考えているというのを前回お話しさせてい ただきましたけども、
1:48:01	その対象をですねこの黄色のハッチングをもって、関係性がわかるよう に、リストの方でお示ししたいと。
1:48:09	いうふうな感じに考えております。
1:48:12	さらにですね、ちょっと左の方ちょっと戻っていただきまして、
1:48:20	はい。今、青野キングで示しておりますけども、構造類型の構造設計を 2、別紙2で説明する際の分類はどこに該当するのかというのをこのよ うな形。
1:48:33	で、ハッチングのような形で、対象の紙と、その章番号でどの分類か ってというのがわかるようにお示ししたいと、いうふうに考えておりま す。
1:48:45	今回、お示ししているものとしましては、新設の対策設備の例と、
1:48:52	映像の冷却塔のちょっと一部の例ですけども、このような形で全体をお 示ししたいと、いうふうに考えております。
1:49:00	すいませんあとちょっと次、1件説明漏れてましたけどもさらに、

1:49:04	設備リストから変更している点としましては、さらに左の方ちょっと画面を映してください。アイストップですはい。
1:49:15	真ん中ほどにあります、工事の有無、工事内容、評価モデルの見直しということで、構造説明に説明するにあたっての既認可からの変更点というのが前提インプット条件にありますので、こういう情報も設備リスト。
1:49:31	項目を追加してお示ししたいと。
1:49:34	いうふうに考えております。
1:49:37	このような形で、別紙1別紙2の全体の情報はこの別紙3の設備率等に情報を付加したもので、全体が見えるようにするという見直しをさせていただきます。
1:49:55	はい。続きましてすみません、ページの方戻っていただきますけども、
1:50:00	通しページの方がですね、少々お待ちください。
1:50:05	27ページをご確認ください。別紙2の整理を、構造整備の整理表の
1:50:14	現状の見直し案でございます。
1:50:20	すいません。
1:50:22	また、26ページの方ですいません失礼しました。
1:50:26	はい。構造設計の整理表につきましては、
1:50:30	前回3月7日の
1:50:35	ご指摘を踏まえまして、
1:50:37	構造設計の列の方は、このような形で、共通するものと差分のものが縦に並ぶような形で、構成の方見直しております。
1:50:48	この資料を作るにあたっては、右、実際の作業としましては右に、実際の防護ナンバーだったりというのを整理した上で、このような形で、共通的なものをまとめて、網羅性をちょっと確認しながら、このような形で、
1:51:04	整理表のほうをまとめてございます。
1:51:08	このまとめた、共通的な設計と差分の設計に対する概要図というのを、値Aとし、
1:51:16	紐付けまして、
1:51:20	30ページ以降の概要図の方につなげていくというところで整理しております。
1:51:29	あと、大きな変更点としまして、少しページの方ですけども、

1:51:35	これがですね、
1:51:38	73 ページからの別紙 2-8 というのをご確認ください。
1:51:45	はい。ちょっと 1 枚ページ送っていただきまして、
1:51:50	これがですね、
1:51:53	先ほどちょっと黄色ハッチングで間示した部分の条文に対する施設共通的な基本設計方針に対して、ここで説明するなどではなくて共通的に整理する整理表ということで、
1:52:06	その記載のイメージの方を今回、まとめております。
1:52:13	はい。一応すいません。基本的な構成としては、ここの構造設計する整理表と同じ。
1:52:23	形公務といいますか、流れで整理したいと、いうふうに考えておりますけども、今回ちょっと 16 条の、ちょっと整理している中でも、ちょっともう少し整理が必要だなというところもちょっとございまして、
1:52:35	構造で担保するところを、系統構成で担保するところっていうちょっともう少しちょっと整理をしっかりと、外で説明しなければいけない点というのを、
1:52:46	しっかりと明らかにして、この指標を整理しなければいけないというのを考えてございます。
1:52:58	はい。
1:53:00	一応簡単ではございますが、全体の記載方針の部分で直した点という、
1:53:05	につきましては、以上になります。
1:53:10	社長、志水です。それでは、藤施設長ごからの選任があればお願いします。
1:53:17	今日の田尻です。
1:53:19	どこから行くかというところではあるんですけど、とりあえず、最初の方で説明されたんで標語の確認なんですけど、77 ページからですね表 5 あって、
1:53:31	助教的には設備リストがもともと申請書にくっついていて、そこに工事の有無であるとか薄井三井のかな、水色で書かれてるように、
1:53:42	分類をどうしますかっていう考え方が含まれていて今例えば、防護板の関係でいうと、一応構成の話と、コンクリートの二つに分かれるんですよ。

1:53:51	冷却塔が横にいるのはちょっとわかんないですけどとりあえず動いたって いうとその二つに分けますよっていうのが書かれていて、いずれも評価 なんで0 へってということだと思っんですけど。
1:54:02	本間だから大きく二つに分けますよという過去の後
1:54:07	別途講座の表とかでまとめるやつのところにつなぐ形で、そこんところ では構成のいたそうをコンクリート分けて書くとかそういう話でして、 これ、どこでわかるんですけど、鉄筋コンクリート構成の話って、鋼材 か。
1:54:21	日本原燃シミズちょっと説明されておりました。
1:54:25	防止ページでいきますと、
1:54:30	23 ページになります。
1:54:38	はい。
1:54:38	まずは、外部衝撃、
1:54:43	脳構造説明をする、まず全体というので、
1:54:47	このような形で対象を大枠としてお示しすると。で、例えば平田医学設 備については、飛来物防護ネットと、飛来物防湾というのがあって、
1:54:58	飛来物防護ワーポすいません言葉口が、はい。飛来物5 番には、いう登 場人物がいて、すいませんちょっと十分にちょっと分類系の考え方が欠 けてるかっていうのありますけども、
1:55:11	図に分けて、次の構造設計の整理表につなげていきたいというのを、こ ちらの
1:55:20	中で書きたいというふうに考えておりました。
1:55:22	長刀禰です。なぜ水井のところでは置かれているように、鉄筋工越冬講座 の話が23 ページからで50 ページからの工事鉄筋コンクリートが書いて あるように、あそこで分類したものの単位で、こういう構造設計の表、
1:55:37	名前が何と言おうが、この表を作って、それに図面とかお金つけて説明 してこうと思ってるんですけどっていうのがまず基本の考えでいいですか ね。
1:55:45	はい。その理解、日本原燃志水でその理解です。その通りでございま す。
1:55:49	はい規制帯磁率でその上、中身に入ってって
1:55:55	間瀬と中条件が多いのか紫色があって関連するやつで、衛藤赤井を書い てあってっていうんで、ここまでは図面とか前回まで何か聞いては何と

	なくわかるんですけど、そういう時、ヒーローというか、16条のやつって いうのは、先ほど書いてあったように、
1:56:13	方針だけが書かれて、
1:56:16	それとは関連付けないものってことなんすか、これは何の位置付けになる んでしょうか。73 ページからの人たちは、
1:56:24	古作です。今回は図ついてないですけど図つける必要があると思ってま す。
1:56:30	ただ他の使用条文との関係っていうよりは、これだけで説明した方がい いよねってことだと理解をしますけどいかがでしょう。
1:56:42	はい、日本エネシミズですはい主、今のおっしゃっていただいたと、日 本語でシミズですけどもおっしゃっていただいた通り、
1:56:51	言い方悪いというよりは共通的に整理したものをこの73、4 ページです か。
1:56:56	3 ページ以降の方で整理したいと思っておりました。
1:57:00	すいませんちょっと広報までいるというちょっと頭にすいません考えに 至ってなかったというちょっと下、しっかり対応したいと思います。
1:57:07	はい。規制庁谷です。なんで図をつけてくださいねって、まず聞いてま すけど、他のやつは、地震竜巻型火災外部火災とか連続で、あの表を受 けてる形になってるけど、
1:57:21	関野由井線の情報をちょっと独立して書いた方が勤務しやすいのでって いうので書いてあって、関連する図が必要なものに関してはそこに当然 関連付けますよっていうので別に付けますよというこの黄色が存在して るっていうので理解しました。
1:57:34	ちょっとあと5分ぐらいで一度休憩を挟みたいと思ってるんですけど、 もう1点だけ、ちょっとこの午前中で聞いておきたいんですけど、
1:57:41	雑誌を付けるものを出しをつけた場合は構造説明しないという整理にさ れたと思うんですけど、これ出しをつけるつけないっていうのは、どう 判断したかっていうのをうちはどこで確認できるんですけど。今例え ば77 ページから77 ページのところ、
1:57:58	外部事象でマークが全部ついてます地震は全部ついてますっていう形に なるんですけど、外部火災とか火山とかのところ、写真がついてるや つといいますよとかになっていて、なかなかそのため、全部出してつい たりするんですけど、

1:58:11	こういうやつらはどういう判断で出しになったんですってどっかで確認できるでしたっけ。
1:58:17	はい。根井シミズです。すいませんこの点をちょっと説明元にすべきでした。本件前回のヒアリングの中でコサクさんからもちょうとご指摘いただいた点にも繋がるんですけども、
1:58:30	9、この整理をした際に、本来構造設計説明で説明する基本設計方針の抜け漏れがないのかっていう、
1:58:39	園の整理、
1:58:41	繋がると思っております。
1:58:43	その整理の際には、こういったものが構造設計が必要である、こういったものは、
1:58:49	設計の説明をしなくてもいいというその基本設計方針の、スクリーニングアウトの考え方であったり、それをの結果形をどう示すかっていうのを今ちょっと家整理してございまして、
1:59:02	それですね、対応方針の方をですね、ちょっと来週、イメージ、講師の方ちょっとご提示してですね。
1:59:09	ちょっとご議論させていただきたいというふうに考えておりました。
1:59:14	規制庁という、ちょっとわかりになったところがあるんですけど、当然説明は必要だと思ってるんだけど、今回準備できてるのは抽出して構造設計を説明しなければいけないものかどうかだけ準備できていて、
1:59:28	そうしないものについてどう表現していくか、全体の中で漏れなく説明してるかっていうのをどう説明するかっていうのは、来週の、いつお話しされましたけど、ちなみに今、
1:59:37	はい。日本原燃清水です。今ちょっと検討してる状況ですけども、来週の火曜日、
1:59:43	面で、我々として整理したい。
1:59:47	アウトプットのイメージだったり考え方っていうのを、火曜日に資料としてご提示したいというふうに考えております。
1:59:54	清ちゃったり少なくともその会合で説明しようとしてるんですよ。
1:59:59	はい。日本原燃清水です。はいその骨格となる整理の考え方については、はい。
2:00:06	お示ししたいというふうに考えております。
2:00:09	はい規制庁タジリ。

2:00:10	ちょっとまだいっぱいあるんですけど一度話を聞いた方が、古作です一度切る前に大枠だけ、別紙3なんですけど、会合の資料で作る時に左か左側が余りにも分厚くて、
2:00:25	何ページも渡っちゃうからコンパクトにしましょうって言った話をご破算になっちゃってんですけど、何でしょう。
2:00:34	音源でシミズです。失礼しました確かに前回の会合のやりとりの中でそういう、
2:00:41	考慮をするというお約束をしましたので、その点も踏まえまして、もう一度別紙3の形の方をちょっと見直したいと思います。
2:00:51	はい。補足です。先ほどのA'B'みたいなやつも、その後ろにある凡例では書いていなくて、よくわからないので、整理をしていただきたいんです。
2:01:03	ですけど、
2:01:05	条文ごとの①②っていうのはその後ろにリストになっていて、そことの関係も含めて整理をして先ほど網羅性というか、説明が十分かどうかのチェックをするといったところの説明にも絡むと思いますからその時に改めて聞ければと思います。
2:01:26	はい。日本原燃清水です。了解いたしました。
2:01:31	コサクです後大枠だ形、全体網羅土居どこで何を説明するつもりなのっていうのを早く示してねっていうことだったと思うんですけど。
2:01:42	今日のこの資料はどういう、
2:01:45	ものになるかっていうと、
2:01:47	S Aのリストが69ページとかに入って、
2:01:52	ますけど、これ本当に累計って感じがしててですね登場人物全部出してるだけで、何か構造説明として何が必要かっていうことが整理できてないような気がするんですけど。
2:02:05	それはまたあれですかね今回示してはいるけど、S Aでもう一度説明し直しますっていうことですかね。
2:02:12	日本原燃清水です。こちらの立つ外周外部衝撃以外のところの目次につきましては、すみません、途中段階の状況でまず入れておりました今S Aのところを今、並行して類型の分類の方を整理してございますので、
2:02:28	そちらの資料をですね今のスケジュールです。
2:02:35	コサクですわかりましたまた別途ということで、

2:02:39	特にその次のその他のところが、これでいいのかっていうところをどう いうふうに見ればいいのかっていうのが悩ましいところなので、その説 明の方針もまた聞かせていただければと思います。よろしく願いしま す。
2:02:54	はい、井上清水です了解いたしました。
2:02:57	長シミズじゃこれ一旦休憩を挟みたいと思います。
2:03:03	30分程度ちょっと休憩をした馬野ですがちょっと巡回時点はやめるかど うかは適宜、事務的に連絡させていただきます。一旦、すいません、録 音を停止します。
0:00:02	すいません。
0:00:03	江藤共通 12 の資料のスズキ D ですが、全然説明、
0:00:10	規制庁が確認ございましたらお願いします。はい。規制庁の田尻です。 先ほど表の話を書いてたんでその続きを少しだけなんですけど、
0:00:21	ある程度仕方ないのかなと、例えば 77 ページなんですけど、
0:00:26	配当ここで江藤、北野坂とかのところいろいろ S D - 2 とかの 2-2-2 とかそういうのが書かれていて、ここらの舞台に関しては後ろの方に表 が乗っかっていて、82 ページ以降で広場っていう形なんですけど、
0:00:45	あと、これは市、条文ごと 2、
0:00:48	判例分類から、対象となる設備の種類とか項目違うから、番号はもうそ れぞれで独立してつけるしかないっちゃうのが一応今の状況と思っとけ ばいいですかね。
0:01:02	はい。井上シミズです。今田尻さんおっしゃっていただいた通り、条文 によって、設計項目の内訳が変わるという認識ですのでそれぞれで、
0:01:11	整理してございます。
0:01:13	はい。清長谷です。なんで、基本的には
0:01:19	どうしてもなさそうですね。
0:01:23	なんか、要は同じ①って書いてある①①以外の異なるところが多いんで すけど、これ 3 番で書いてあっても波及影響のものであって別の項目の ものであったりっていうのはあるけどそれは条文毎に見て、
0:01:36	結局あくまで表のところはどういうものにどういう項目をつけましたっ ていうのが見える形になっていっているか 1 個 1 個の項目をつけたかっ ていうのを具体に見ていくしかない、認識するので、体力もありまし た。

0:01:49	この目資産から見てもこのこと何かありますがちょっと前の別紙に川浪の方と僕言ったそうなんですけど道さんの方で何かあれば、ぜひお願いします。
0:02:03	あかん。
0:02:06	あ、古作です。
0:02:09	こちら悪いのかな。
0:02:11	これわかんない。
0:02:15	あと、カミデさんちょっと声が小さかったようにこちらではなっていたんですけど原燃って聞こえてました。
0:02:23	日本エヌです。日本原電N-S聞こえておりました。わかりました亀田さんすいませんそれでは、初お願いします。
0:02:32	はい。上出です。
0:02:35	今話をしていた凡例のところで、
0:02:39	82 ページ見ればいいんだなあとは、ようやくわかったんですけど、
0:02:46	耐震っていうとですね、56 条で言うと、変更したものはそのフラグ立ててもいいとは思いますが、別に変更してないものはわざわざ、
0:02:57	番号を振る必要もないんじゃないかなと思いますけど、その辺はまだ、
0:03:02	これから整理しますって感じですか。
0:03:05	はい。表現でシミズです。はい。これからちょっとそこを、この
0:03:10	部分の整理も含めてちょっとはい精査が必要かと思ってございました。
0:03:16	はい。規制庁深見です。
0:03:19	説明項目に対してどういう情報不
0:03:23	復帰するかっていうことだと思いますので、
0:03:26	表って言うよりは耐震
0:03:28	個別で、
0:03:34	あとですね、耐震、今は 77 ページの表を見ていて、
0:03:46	R C の防護盤が今日、
0:03:48	議題に入ってますが、耐震計算書でどんな感じかなって見ると、
0:03:57	3615 番の、前処理の安全蒸気系設置室っていうのは
0:04:06	耐震計算書あったん。
0:04:08	です。耐震設計の欄見てもこれ C-1 で波及影響があるからそうかと。
0:04:14	それ以外のものはないんですけど、これは C 案じゃなくて普通の C だから、波及影響を与えるものじゃないんだろう。

0:04:25	守るべきものから結構離れて、
0:04:29	なんですけど、
0:04:30	その辺の、
0:04:32	防護対象との位置関係っていうのは、
0:04:35	今日のこの資料ではわかんないと思うんですけど、
0:04:38	どうやって確認できるようになりますか。
0:04:54	はい。日本原燃清水です。
0:04:56	C-1とCでないものは皆様のご理解の通り、Sクラスとの関係位置関係で、そういう整理をさせていただきます。
0:05:07	その情報をですねこの共通中にちょっとどう扱うかというところで、
0:05:14	構造整理の中で、要求事項へと波及等、Cクラスのものに分かれますので、
0:05:22	そういう分かれてるところがわかるようにちょっと、配置情報ですかね、というのをちょっと追加したいと思います。
0:05:31	コサクですちょっと何言ってるかがよくわからなくなったので確認なんですけど、表の関係で言う等、今の話は、682ページの、
0:05:43	ところで⑥なのか⑧なのかということで、
0:05:48	整理をしているということだと思うんですけど。
0:05:52	その整理はなぜなのかっていうのの説明をどうするかという話になるという理解でまずいいですか。
0:06:02	はい。日本原燃清水です。はいその理解でございます。
0:06:05	古作です。それで言うと先ほどタジリも似たようなコメントをしたと思うんですけど、
0:06:12	'ってどこで衛藤説明しますかっていうことですね。
0:06:17	いので、そういったところの説明方針っていうのの中で合わせて、
0:06:23	どう扱うかは出てくるんじゃないかなと思ったんですけど、どうなんでしょう。
0:06:42	日本原燃清水です。
0:06:45	はい22ページの、はい。この分類のところと、さらにですね。
0:06:52	80ページのところで、そもそもその設備がどういう耐震クラスなのかっていうのをちょっと内訳は示しているんですけども、今の上出さんのご指摘は、
0:07:03	それがなぜC悪いなのかっていう、

0:07:06	ことを、C & Cで分かれることの妥当性、ちょっとどこで説明して、 するのかっていうことなのかなと理解したんですが、
0:07:16	あ、すいません日本原燃志田でございます。
0:07:18	まず、この共通商品の中で網羅的に必要な情報をちゃんと出していく、 それが正しく先ほど田尻さんがあった、ラッシュとかのところ为一体ど ういうふうに、
0:07:30	それが'でいいんだってという説明をするんですかねっていう話も含めて、 この共通の中でこういった情報を出して、その
0:07:38	評価の中につなげていけるのかって話だと思いますこれは椎葉石井、志 田谷津もですね結局今回新規でつけますから、新規で付ける時にこれは こういう構造化とこういう場所についているから、こういう設計でいい んだという説明の、
0:07:55	井口になると思うのでそういうことを網羅的にこの共通事業の中でどん な情報が必要で、どういうふうに示していくのかっていうのを、整理を していくっていうのが、まさに共通の入口として必要なことだと思います ので、
0:08:10	全体の整理の中で示していければと思います以上です。
0:08:15	はい。規制庁カミデです。よろしくお願ひします。石川さんは大丈夫だ と思いますけど
0:08:22	何だろう。
0:08:23	全部の図面ただつけばいいかって、そういうわけでもあって、
0:08:28	こういう考え方のものは同じ考え方のものはまとめ、
0:08:35	どうぞ。
0:08:38	加えてもう1点なんですけど、今度その耐震計算書っていう意味だと耐 震計算書で、
0:08:48	飛来物防護版で、括弧、前処理建屋、端子盤防護設備、
0:08:54	なるものか。
0:08:55	計算書1本について、
0:08:58	安全蒸気設置室とは別にですね、一本
0:09:03	経産省ついてるんですけど、今日出てきた8、77ページでも、それが、
0:09:11	リストにいなくて、
0:09:13	設備リストの方見に行っても、なんかいない感じがするんですけど、

0:09:19	何か、そういえばくそういうこういうことですか、思いたって る方がいれば状況
0:09:35	少々お待ちください。
0:10:07	規制庁深見ですあと野谷高田がいなければ後半でも嫌ですか。すみませ ん日本原燃清水です。今ちょっと確認しまして、
0:10:17	77 ページ 3620、
0:10:20	ネットナンバーのところですね、すみませんナンバーの番号今読み上げ ましたけど、ここの、
0:10:25	冷却塔接続受け外設備というところが、説明書で該当するんですけど、 けども、
0:10:32	経産省の名前をちゃんとリンクがこの整合するような名前今つけられて ないというのが事実ですので、そこはしっかり申請書の中で整理さし訂 正させていただきたいと思います。
0:10:47	はい。規制庁深見です。とりあえずわかり、
0:10:55	はい規制庁亀井です。とりあえず、別紙3としては、
0:10:58	以上です。
0:11:05	はい。ちょっといいです。上地さんとか折田さんでちょっと次、デイ・ シイなんかし、石岡さんとも若干熱心にさせていただいて、
0:11:15	まず考え方を聞いておきたいんですけど
0:11:19	榎玉井のところでも聞いたように、25 ページ以降のところの後半の方の 今後以下の話を書いてあって70 何ページとかってこうで、インコンプ リート話を書いてあってっていうので、
0:11:30	それぞれ業務要求基本設計方針添付に関連づけながら、こういう構造で すよってという説明する形にされたのは理解するんですけど。
0:11:38	ここで書かれてる構造設計とかっていうのは、
0:11:42	この防護板にかかるもノートして、構造説明しなきゃいけないものがま ず意識書かれてるってことでいいですかね。
0:11:50	はい。日本原燃清水です。はい。その認識の通りでございます。
0:11:56	規制庁谷です。その上で、これは後の図面とかと関連ついて、要は、ス タート飛来物と動いたっていうカテゴリーのものに関しては、今回の資 料でいき、
0:12:08	1 セットの説明は別に

0:12:11	パラメータ言うたそういう話じゃなくて一応飛来物防護委員会に関しては、考え方はしなくても全部説明できたんですよという形になるべきものなんだと思うんですけど。
0:12:20	これ後でついてきてる図っていうのは、やっぱ、
0:12:25	代表とかって言いたくないんですけど、こいつを説明しとけば他のところにも全部適用できそうなんですけど、一緒についてと思えばいいんですかね。
0:12:34	はい。日本原燃志水です。今の田尻さんのご認識の通りで、共通的なものと差分があるもの、本当に、これを一つの
0:12:44	よう図をお示しすれば、考え方は同じであるという認識のもとで整理してございます。
0:12:51	江藤谷です。で、その共通的な部分とかってというのはど同意を見てればいいですか。他のものもうここに書かれてるような構造になってるっていう話なのか特に竜巻部分に関しては、
0:13:04	以前はついてたのに多分図面とか減っていて、
0:13:07	この考え方に全部適用できるのかよくわからんところがあるんですけど、例えば、
0:13:13	41 ページの小寺ビル構造ですって言っていたの話が書かれ、
0:13:18	だから変えていってっていう形なんですけど。
0:13:21	ただ、
0:13:22	それからとかラビリンス構造になってるかっていうとそうではなかったような気がして何か考慮して大丈夫でしょうかって言うやつがいたりとかいろいろあった気がするんですけど、そういうのも全部こちらの説明に包絡されるっていうんですかね。
0:13:46	はい。日本原燃清水です。
0:13:50	大分飛来物防護板を分離してする構造にしているものについては、このラビリンス構造であったり、直接当たらないような瀬、
0:14:01	隙間にしてるっていうパターンはですねこの概要図で、お示ししてるという考えでございます。
0:14:08	規制庁田井です。
0:14:09	またっていうのは、
0:14:11	この隙間を、砂利よりちっちゃくするっていうのと、ラビリンス構造にするもの以外はないと思っていいですか。

0:14:29	規制庁田井です。いや、これで説明してきたってということなんで他にはもういないんですよねっていうふうに質問をしてるんですけど、日本原電示さ所長お待ちください。
0:14:39	日本原燃清水です隙間については、
0:14:44	周辺の家構造なりをカラーも踏まえて、飛来物が飛んでこないと想定しているところがございましてちょっとそこを今ちょっとどこで書いてたのかちょっと確認します。
0:14:58	店長たちですねその前までは建屋の上については、この隙間どうこうとかって図面いろいろ載ってたりしたんですけど、
0:15:05	何かいろいろ消えた気はしていて、
0:15:09	飛来物今回代表選手に選ばれていて、まず竜巻に関して言うと、説明しなきゃいけない項目なんか多分あんまりなくて、
0:15:18	まずあの板があって、貫通評価としては左下の金戸さん通じませんよっていうのを示さなきゃいけないっていうのと、あと、板自体を止めてる部分の評価は、マボルトなのか融雪してんのかという所があるかもしれないですけどその部分の評価をしなきゃいけないですねっていうのと、
0:15:35	あとは隙間が開いてるようなところが多分今回あるっていう話ではないと国安として認めるところですけど、そういったところに関してはこういう考え方ですよとかっていうとか、
0:15:45	あと波及影響の観点で落ち着いてませんよとかっていうふうに、そんな多くないと思ってるんですね。
0:15:51	一番最初に言ったパスしませんよっていうやつに関してよかったら、部材等板厚の関係だけなんで、1個代表例で説明できますよねっていう話だと思っていて、
0:16:02	逆に今度固定箇所に関して言うと、そもそもボルトの付け方の概念とか、何も聞いてないところなんですけど今支えてるのって、
0:16:13	山田のボルトの話だけ答えていて1回目で説明したのと変わらないからっていう可能性あるんですけど。
0:16:19	こういう考え方で取りしてますよっていうところが、どう示されてるのかどうかがわからなくて、それ表と関連づけてそういうこと言ってもらえばわかるんですけども、とりあえず列挙されただけになってるわけじゃなくて、

0:16:30	さっき言った隙間があいてますよっていう関係に関して言うと、考え方がそもそもよくわからなくてさっき言ったラビリンス構造と、今、すいません、補足です。
0:16:42	ひたすらしゃべり続けるのわあ、聞く人がかわいそうなので、一つ一つ、
0:16:49	整理をして、
0:16:51	議論をした方がいいと思います。話を戻すと、先ほど言われたのわあ、26 ページの 5 番の、
0:17:00	行に、
0:17:02	建物から飛来物が飛来することを想定しないと。
0:17:07	言われていて、
0:17:11	周囲に防護盤は取り付けないと言っている構造についてを、
0:17:17	今のラビリンス云々だと説明できてないというふうに言われたような気がするんですけど。
0:17:23	ここを見ると第 1 ポツ、2 ポツ 114 図参照と。
0:17:29	なってますが、
0:17:34	違うんでしょうか。
0:17:47	日本原燃田仲でございます。衛藤。
0:17:50	周りに周辺に建屋があってそこから飛来物が塗装、
0:17:56	はい。飛んでくることを想定しないってところの、今説明の行になっておましてそれが、
0:18:03	1 ページの 46 ページの書いてますと、見えて図に示しておまして、飛来物 5 番と、他、この場合は A B 建屋の
0:18:15	建屋の屋上に起伏があるので、その位置関係を示して、ここに今緑でちょっと示しているんですけどもそこから飛来物が、仲西ニュース、そそいつを戸塚。
0:18:29	そっちの方面からそっちの方がいいんじゃないの。ちょっと、
0:18:32	そっちの方から飛来物が飛んでくることはないという想定をし、しましてそこには板を張っていませんということを示したいという図をつけております。以上です。
0:18:45	コサクですこのページを説明してくれと言ったつもりはなくて、

0:18:50	先ほどのやりとりの中で説明が足りてませんと言ってますけど、どういふふうに足りてなかったのか表との関係で説明してくださいという入口として聞いたんですけど。
0:19:00	いやちゃんと書いてますっていうふうに言われたような感じがしてて、じゃあさっきのやりとりは何だったんだっていうことを説明してもらえますか。
0:19:22	はい。二本木西田でございます。ちょっとこちらのやりとりが中途半端かつ比木お互いの認識がずれて多分会話がかみ合っていなかったのが一番の問題だと思ってます。
0:19:36	その原因はですね設計上の配慮の書き方を、結局ももとの設計との関係で、細分化し過ぎてですね結局も、飛来物が当たらないように、
0:19:49	どっかとその飛来物が来る時にそれを全部、道路すべきものから道具します。それで、インタートレードするかって必要なところに板を張るといふ設計方針があった上で、
0:20:00	そのスポーツをどうやって展開しますかっていうところも大きな項目として隙間の考え方をどうしますか、その隙間の考え方っていうのが、
0:20:10	結局は、建屋その隙間があったとしても例えば、
0:20:15	発表邪魔になるので入りませんって言うてるのは、
0:20:18	ということは同じで、これわざわざ周辺環境に分けた結果、同じことを言っている加治おかしく流活した。
0:20:27	そうですね多分さっきのやりとりシミズ該当した時には考えなかったんじゃないかなと思ってますんでそういうことをちゃんと意識して、設計方針との紐付けで何をやらなきゃいけないのかっていうところだと。
0:20:40	認識した上でグロス表を整理していかないと、
0:20:44	次ありますことになります。よくわからない分離した状態で示す結果になるんじゃないかなと思ってました。以上です。
0:20:53	はい、古作です。今言われたことでいうと、
0:20:58	第2表ですよね。
0:21:03	ここで言えば、1ポツ2ポツ1-2表ですけど、
0:21:11	中の項目の分割の仕方なり並べ方っていうのが、まだこなれてませんっていうことを言われたんですかね。
0:21:22	はい。結城の石田でございます。はい。ここの表でですね、例えば、

0:21:30	設計方針に上から2番目、こすって防護設計飛来物の慣性微粒剥離を防止できる撮取できる設計とする。
0:21:40	それを受けた6-1-1の1-1-3が来て、水戸黒沼さんのところでは、設計上ですが竜巻防護対象施設がショートすることを合意するため、必要な箇所に、
0:21:53	5番設置しますっていうことか。それで、飛来物の貫通を防止できる設計としますよと言っていますと。
0:22:01	その周辺関係のところの書き方で、
0:22:04	達成しようとしていることは一緒なんですけど、片や、上から泡が二つ言葉が書いてある二つ目ですかね。
0:22:13	通関許容する飛来物に大きいはず直接衝突しない構造とする。
0:22:20	建屋から飛来物が想定する飛来することを想定しない。
0:22:26	これが生じることに対する考慮としては、裏返しで書いてるだけで言いたいことは衝突直接しないようにするためにどう実現するかという話をしてるんですけど。
0:22:37	その
0:22:39	方のやり方が、いくつかパターンがありますよということを示せばいいんじゃないかなと。
0:22:44	まず
0:22:46	このことをちゃんと整理をして展開をしておけばさっきのような、こっちを書いてます、あっちに書いてますってことにはパターンとしては全部で全部取れないんだみたいな話にはなるんじゃないかなと思ってました。以上です。
0:23:01	はい。補足です。
0:23:05	完成形が少し私の中でまだ整理できてないんですけど、
0:23:11	言われるようにちょっと待ってください。
0:23:14	設計方針から設計上の配慮事項というところに、一応その紐付けというところでは分類はしているものの、
0:23:24	並べ方としてですね、設計方針の考えのなら、流れになってるのかということじゃないかなと思います。
0:23:33	で、今の場所でエバーイシハラさんの話を聞いていうと、まずはどこに設置する必要があるかと。
0:23:42	いうことを抽出をする。

0:23:46	なので、5番が最初なんじゃないのと。
0:23:49	いう気がしました。その上で、こういう進入角の飛来物を防がなきゃいけないということが出てきて、そこに対して設置します。
0:24:02	こういうものを設置しますってのは上の方にありましたけど、
0:24:05	設置しますで、ただびしっと設置するわけじゃなくて、こういう条件で設置しますなのでと言ってラビリンス構造が出てきたりと。
0:24:16	いうことかなあと思いますけどいかがでしょう。
0:24:22	はい、野木西田でございますはい。そうですね私も多分この添付商品まで来てて、構造設計の前の設計上の考慮がきて、この設計を変えてるんですけど、
0:24:37	構造として達成しなきゃいけない目的っていうか目標っていうんすかね。あるべきそれを達成しようとするべき周辺環境を孔壁最終的には一体どういった構造になったのかみたいな。
0:24:49	足を展開すべきではないかなとそうすることによって、
0:24:53	目的型整備っていうんだよってこともわかりますし、具体の構造としてどういうところが差異ができるのかっていうのがもうわかるかなと紐づけとしてですね、というふうに思います。はい。
0:25:06	はい。補足です。
0:25:08	第1回するときにも、審査会合で説明のロジックをちゃんと整理をして対応するようになって話を、
0:25:16	しているように、ここの部分もそれぞれの中でシナリオが、
0:25:21	通じるようにまとめていただければということかと思いました。
0:25:26	そういう目で見ると3番もですね。
0:25:31	ええ。
0:25:33	交番形状重要低減可能な構造って、
0:25:38	いうのは、貫通できない。
0:25:41	設計とする案だっというこの設計方針と対応してんのかっていうのもいまいよくわからないんですけど。
0:25:49	これは、
0:25:50	ここでいいのかとかいうのも含め、
0:25:55	関係性をちゃんとわかるように書いていただい並びな場所なり、整理の上、それがわかるように書いていただきたいと思います。

0:26:08	はい。弓削西田でございますはい。整理をさせていただきます。あとは今、先ほどコサクさんがおっしゃっていただいたところは、まさしく前からお互い相反することを、
0:26:20	やるみたいなものじゃどうやって示すんだってところの論点だと思います。
0:26:27	板厚を確保する形状としては隙間がないようにする。
0:26:31	そうすることによって重量が増えたら外耐震上の問題は出てくるかもしれない。その両方を両立するためにどうやって設計すればいいかってところの会を出したときに、果たしてこの表の中でどういう表現の仕方をしたが、
0:26:44	言いたいことがちゃんと伝わるのか。
0:26:47	いや達成できることをちゃんとどうやっているのかっていうことだと思います。
0:26:51	そういう意味では
0:26:53	あくまで貫通しないタイプを確保するってとこでいけば、単純にその位と括弧で来てるわけで、あまりここで何だかんだ言うよりは、
0:27:03	志村で、耐震のことがないって重要必要な重量に抑えるとかですね、正しい竜巻側の個々の考慮は抜けなくやらなきゃいけないよみたいなことでリンクを貼るとかですね書き方は、他にもあるんじゃないかなと思いますので、
0:27:17	そういったところも含めて整理をさせていただきたいと思います。以上です。
0:27:23	はい。古作です。別の要求との重ね合わせでっていうときは呼び込みながらということですけど、その呼び込みを今書いてないようすし、
0:27:35	整理をしていただきたいと思います。
0:27:40	今の場所は、
0:27:48	5、第5図っていうこと、
0:27:52	37 ページの
0:27:57	下の図ですかね。
0:27:59	のところで言われて、
0:28:05	いますけど、
0:28:07	見てもいまいち何のことを言うわけ。これはあれですか、矩形の囲いではなくて円形の囲いにしてますっていうのを言いたいんですか。

0:28:21	日本原燃のサカモリでございます。先ほど古作さんがおっしゃった通り矩形じゃなく丸型を採用した理由となります。以上です。
0:28:30	それによっていたIIの変更してるってこと。
0:28:37	物量が減るからっていうこと。
0:28:41	はい。ですね。ありがとうございます。板厚は変えておらずですね支持学校とかそういったものが省略できるというところで、重量上のメリットがあるということでございますちょっとすいませんその辺の記載が、
0:28:53	抜けてるといふのはあるかと思っております以上です。
0:28:56	コサクですわかりました。
0:29:04	そうですね確かに構造設計非常に工夫したところという意味では説明ポイントなのかなというの理解をしましたが、先ほど言ったようにそのシナリオの中でどこの市の
0:29:19	説明になるのかということかと思えます一番最初に言うことでは多分ない。
0:29:26	でしょうね。はい。
0:29:28	整理をしてください。
0:29:31	一旦ですよ。ありがとうございます。ありがとうございます。たてつけ方で、少し上の方から、ちょっとだけ頭の整理も兼ねたんですけど、
0:29:40	まず設計の配慮事項ってやつが、
0:29:44	多分これ、普通に一般的な真四角の加工が視覚に加工であるとか、そういうやつで統一してなくて、隙間が空いてるところとかもありますよっていう形で、ちょっと特異な設計にしてしまってる理由はこういう形ですよというのが基本はまず並んでると思えばいいですかね。
0:30:05	はい。井上シミズです。はいそのような考え方で整理したいということで書いておりました。
0:30:14	が構造設計に書かれてるんです。
0:30:16	ちょっと特殊な構造なんでそこについて説明したいんですけどっていう流れかと思いつつなんですけど、1点だけそういう考え方がわからないがまじって13番なんですけど。
0:30:28	浅尾確保することで取付ボルトに有意なせん断化っていうかっていう話を書かれてるんですけど、これも同じ考えですか。これは設計のための考えですか。
0:30:42	あ、

0:30:43	はい。日本原燃のサカモリでございますこの辺が、実は結構角度どうするか悩んだところ、
0:30:50	なんですけれども、
0:30:52	G A 建屋の分を置いた、のところでございますけれども、二つ、かなり分厚くすというちょっと設計思想を持っておりましてその設計思想があるがゆえに、
0:31:02	ボルトの評価を合理化してるっていうのが設計の上流の方にあったものでちょっとそれを、
0:31:09	ちょっと書くべきかなというところで最終的に変えたということでございますただの記載値が妥当かというそれはちょっと数本正直私もまだ悩んだ。
0:31:22	見直し。
0:31:24	以上です。
0:31:25	長谷です。今の合理化っていうのは、
0:31:29	普通三田はってあったら飛来物が衝突したことその固定分のボルトとかの、解析とか評価されてると思うんですけど、今の合理化っていうのはどうしてるって話でしたっけ。
0:31:43	いわゆる元のサカモリでございます。
0:31:47	第1回のときのボール言ったようにですね雨水防護板っていうのは飛来物がぶつかった時にどんどん変形して行ってその変形挙動にボルトにかかり、
0:31:57	せん断力が働くというのが評価の下、
0:32:01	それでちょうどそのメカニズムとなっております。一方、このポートレートはですね板厚をかなり厚くすることで、板を曲げないというちょっと設計思想になってございますので、第1回目的なようなその変形挙動がほとんど生じないということで、
0:32:15	ホールの設計が静的な評価で済むんじゃないかと考え、
0:32:21	進み評価をちょっとしていないというのがございましたので、ちょっとそういう意味でちょっとす。
0:32:26	もしこの表で書き示したということでございます。以上です。
0:32:30	店長の福谷です。解析じゃなくて計算で示せるぐらいの厚さを確保する設計方針。

0:32:40	はい。日本原燃のサカモリでございます。その通りでございます。以上です。
0:32:46	町のタジリも、
0:32:48	ものすごい分厚く指摘や変形はしない気はしつつも、
0:32:52	それは先行例と変わる花Cを持ってきてるのかそれとも、
0:32:57	いや、何か、なぜ急にこういう考え方もできたかっていうだけなんですけど、なんでしたっけ。
0:33:06	はい日本原燃のサカモリでございますセンコーと全く同じ質問があるかという多分ないと思っておりますすいませんちょっと歯切れ悪くて申し訳ないです。以上です。
0:33:19	規制庁の谷です。いや、なんかちょっと、いや、別になんか駄目とかいう認識確認したいんですけど、板厚分厚くしたから。
0:33:27	要は解析しちゃってないからいいから、すぐ悪くしたのか、たまたま板厚松井から解析省略してもいいですかかっていうふうに聞いているかっていうと、どっちですかね。別に解析ができないってということもないような気がするんですけど。
0:33:40	ここは何で分厚くするんでしたっけ。
0:33:44	すいません日本原燃のサカモリでございますそこを単純にですね解析をせずに設計をできるようにしたらどうしたらいいかなという考えが、板厚を分厚くすれば、過大な剪断力はかからないと考えて、
0:33:57	その思想のもと設計を進めていったという絵でございます。解析は赤城さんおっしゃる通り可能でございますので、
0:34:05	以上です。
0:34:06	今日だったりですね、いやあ他のところは有料を削減するんだって言うていろんな形状をやる中で、
0:34:12	何かここは解析したくないから行ったところは作って、ごめんなさい、解析をしたくないからというのを、タジリの言葉をリピートしたので、
0:34:22	ちょっと通信が悪くて途中の言葉が聞こえなかったのかもしれないんですけど、
0:34:28	解析をしたくないから分厚くしたということではなくて、分厚いから解析は省略できるかなと考えたということですか、それとも、
0:34:41	分厚く。

0:34:43	主体理由があったということですかということここの、配慮事項を見る限りは何かニーズがあって、分厚くしたというふうに書いてますけど。
0:34:55	何でしょうか。
0:34:56	実は、委員の阪本でございます。先ほど古作さんが言ってくれた一番最初に前者になります。以上です。
0:35:05	コサクです前者って私とその順番どう言ったか覚えてないのであれですけど解析したくないですか。
0:35:13	日本原燃のサカモリを分厚くすることで解析する必要はないというふう考えたということでございます。古作です解析したくないってことですね。
0:35:29	伊勢社長谷です。分厚くなった理由は、他の理由って分厚くなったのか。
0:35:36	それとも、解析しないために分厚くしたのかっていうと、繰り返し、いや、ごめんなさい、古作です。それだと同じ意味なので、分厚くした理由は何ですかというのがシンプルな質問ではあるんですけど。
0:35:51	解析したくないっていや解析できるじゃんていう問いに対して、片や先ほど田尻も言ったように他だと、重量増というのを控えたいと。
0:36:03	言っておきながらここは重量増、
0:36:06	をしようと。
0:36:08	逆行する判断をしているということなので、
0:36:12	ゆ、いろいろな設計方針が一せめぎ合ってるのはいいんですけど優先順位はどう考えるんだとか。
0:36:19	す、どこで、
0:36:22	ジャッジを変えるんだとか、そういう設計思想はどこにあるんでしょうか。
0:36:29	日本原燃のサカモリでございます。すいません私は説明は言葉足らずで申し訳ございませんでしたこちらのさ、防犯のやつを採用したものですけれども、パックから直接、
0:36:40	というような、大分のものでございまして
0:36:43	今日の資料でいうとですね、ちょっと写真だけしか載ってなくて恐縮なんですけれども、
0:36:52	49 ページですね。

0:36:55	ちょっと写真を載せさせていただいているんですけども、
0:37:00	おしり
0:37:01	を取るということで今まで重量低減を務めているようなですね、基礎構造の性格がかなり厳しいとかそういったものはなかったので、
0:37:10	ぜひフリーな設計ができたというふうに、その中で設計の合理化を図って行って、すいません、鋼板を厚くするという判断をしていたということになります。以上です。
0:37:28	コサクですけどそうするとここだけは設計思想が全く元から違いますと。
0:37:35	ということですかね。
0:37:39	日本原燃のサカモリでございます。なるべく思います。はい。以上です。
0:37:44	コサクでそうすると一代表に包含して説明するというのはありえなくて、個別で説明するしかないんじゃないですかね。
0:38:05	古作です。もしくは、
0:38:10	どうぞ。
0:38:19	はい日本原燃のサカモリでございます先ほどの設計思想がかなり異なっているという点ではこれもやはり代表になるのかなと今ちょっと思い直しましたのでまたちょっと資料の方、
0:38:29	見直したいと思います以上です。
0:38:33	はいコサクです。整理をしてください。今の話も49ページでって言われたからあれですけど、
0:38:41	先ほどのところに49ページの
0:38:45	第16図っていうのを引用してないし、
0:38:49	わからないってことなので、整理をしていただければそこでまた付番をしていただければいいんですけど、
0:38:56	対応よろしくをお願いします。
0:39:02	規制庁ハバサキなんですけどちょっと中身、先ほど49ページの写真の、
0:39:08	5番が27ページの文章のせ対象ですってという話だったんですけど、ということは49ページのように、後半厚を厚くした理由は、
0:39:20	ボルトにせん断荷重が作用しないために、ここまで厚くしたというふうにとらえていいんですか。

0:39:31	そうですね。はい。日本原燃サカモリでございます。1の取付ボルトにせん断荷重が働かないと考え、そのようにしたということでございます。以上です。
0:39:41	木内浜崎です。額面長はそうなんでしょうけど、
0:39:45	何か他の理由があって、厚くしてるとかじゃないんですか。ただVスクーターだけど、
0:39:51	こんなのを大規模な厚さの鋼板をつけたということで、ちょっとあまり、
0:39:56	違ったんですけど、
0:39:58	特に他の理由はなくて、冒頭救うためだけですか。
0:40:12	少々お待ちください。
0:40:14	古作です。ちょっと整理していただければいいんですけど、そもそもこの枠が波及影響のところにはぶら下がっているのですね。
0:40:26	もともとの防護板の設計思想としてっていうところから立ち返らなきゃいけないの2、
0:40:33	設置はしてあった上で波及影響としてボルトをっていうだ形だと意味がわからないんです。
0:40:40	そこから含めて改めて整理をしないと、ロジックの整理された中での議論ができないので、まとめていただいてからの方がいいかなとは思いますが今何か説明できることがあればお願いします。
0:40:59	はい。日本原燃のサカモリでございますちょっと局所的に見過ぎたなと今ちょっと考えておまして、そもそも思想がちょっとやっぱ違うという観点で、1からですね整理し直してもう一度お示しさせていただきたいと思います。以上です。
0:41:18	はい。規制庁館です。整理して説明いただければと思います。
0:41:23	ちょっと特殊なものはいつもそういうのが配慮事項として書かれていて構造設計が書かれていてというところなんですけど。
0:41:31	先ほど少し話をした中でなんですけど、隙間は強い何ですけど、今の話は、結局今、26ページで言うと、4番とかに書かれていて、
0:41:44	基本的には予算4番だけじゃないか、4番と2番目ですかね、2番のところ
0:41:50	等、

0:41:52	通過を許容する飛来物より大きい飛来物が直接衝突しないっていうふう に言っていて、まずこれは砂利でよかったでしたっけ。
0:42:04	あ、はい。日本原燃のサカモリでございます第1回申請を踏まえてです ね通過を有する飛来物というのは砂利よりちっちゃいものとなってござ いますので言うとそれぞれ大きいものは通さないということで言葉を使 っております以上です。
0:42:19	規制庁たりですなんて、ネットの網目を通過する一番大きいやつだっ ていう意味で、ちょっとこの表現自体はいずれ直してもらおうと思っ てんですけどとりあえずジャギーが対象ですねっていうのが目下
0:42:31	その上4番の方に行って、
0:42:35	ここんところと言っている。
0:42:37	これを大江と共用開いて大きい飛来物が直接衝突しないのためのビジ ネス構造とか何とかっていうのはさっき話少ししましたけど、隙間カー それよりもちっちゃいカー。
0:42:49	ラビリンス構造っていう形なんで、とりあえず、
0:42:54	まっすぐ見通せない状況にはなってるんだと思うんですけど、基本これ と、先ほど少しほかのところで話があったように、
0:43:03	何か別の考え方もいるっていうことでいいですかそれともここにすべ てがもう楽。
0:43:16	規制庁タジリさっきの建屋の話はわかってるんで大丈夫です。要は、
0:43:21	境界部などが良いだろうかといって、要は隙間がほぼない状況に近い と思ってるんでそこはいいんですけど、他は必ず
0:43:29	隙間がちっちゃいからラビリンス構造。
0:43:34	はい日本原燃のサカモリでございますスキーマに対する処置としては大 きく二つあると思ってまして一つはそ、
0:43:41	先ほどお話ありました砂利売りちっちゃい隙間にするというのと、あと 一つはスクラビング構造を採用することで、その飛来物が中にいらな い。すいません。
0:43:52	防護対象を直接衝突しないようにするという、その二通りありますので ラビリンスということでこちらは後者を意図しております。以上です。
0:44:01	はい。長谷です。ちょっと今回の図面にいるかわかんないんですけど、
0:44:08	あれはね、そうだな。

0:44:10	あれ板としてワーなんか建屋とね、あれはネットだから、今回あくまで板の説明になっていて、板に関しては、
0:44:20	この間の電サてあとネットの間とかの話あったけどあれは喜多手はなくてネットの話だから今回は対象外で、他は。
0:44:28	今回はあくまで防護板って名前をつける板に関してはこういうことで統一してますよってことでいいですかね。
0:44:36	ネットの一部の防護板と飛来物を置いた。
0:44:41	目立った気はしつつ、古作です。今の話では、ネットの中の防護板は別だけど、建屋との隙間の話で言えば建屋側にいたわいたので、
0:44:55	ここでも出てくるっていう理解でいたんですけど。
0:45:00	入ってますよね。
0:45:05	はい日本原燃のサカモリでございます 2月の審査会合だが一部1個が張り出して、八尾さんおっしゃってるとんですけども、
0:45:16	出ますでしょうか。
0:45:18	コサクですけど合ってると思いますけど、説明者はそちらなので、日本原燃のサカモリでそちらの1項がですね正しくすいません
0:45:28	49 ページのこの写真の方でございまして、
0:45:33	こちらをですねちょっと写真写ってませんけどもちょっと右側っていいですかそちらの方に広げていくと地点の防護ネットが出て、
0:45:41	この
0:45:43	ついでる板が、確かあそこの写真に出た鈴に出てくる。
0:45:50	パーティー対策となります以上です。
0:45:53	コサクです。そこクリアランスお話しなきゃいけないのに、そこが写ってなくて説明してますっていうのはありえないですよ。
0:46:17	日本原燃の坂堀でございます すいません写真の範囲がちょっと適切でなくて申し訳ございませんでした。以上です。
0:46:26	コサクです映ってないから当然のような感じはしますけど、そこの説明をするず坂野りんくうだとかも含めてちゃんとしてないんじゃないかなと。
0:46:37	思いますのでちゃんと説明が必要なところっていうのは、ヒアリングで言われたところは、説明が必要なところだということだと思いますので、
0:46:48	しっかりとわかるようにしてください。

0:47:01	古作です。で、
0:47:05	バラバラと言ってしまったんですけど大本で言うとうこの第2表が、構成としてちゃんと一貫性を持って歩いわあ、漏れがなくという形での体系がとれてるのかという。
0:47:18	記載方針でチェックできてるかどうかだと思うんですね。
0:47:22	でも、
0:47:23	一番最初に申し上げた時2、
0:47:28	今日もう、何かよくわかんないんですけど、第2を
0:47:33	1-2-1の2章、
0:47:36	26ページですね、一行目見ても、
0:47:41	配慮事項バーD。
0:47:43	構成とする。0以上ず番なし。
0:47:49	これで説明できてんのってどう説明してるんだっていう感じがあって、
0:47:54	これは前話したよう2や構成として、類型二つに分けてますっていうことで、
0:48:05	鋼材かコンクリートか説明を分けますと、
0:48:09	ということだったと思うんですけど。
0:48:12	この表は鋼材だけなんですたっけ、コンクリートも含むんですたっけ。
0:48:19	はい。日本原燃志水です。この26ページの表は、鋼材のものにだけを整理したものでございまして、トピックコンクリート造のものにつきましては、
0:48:32	通しページの竜巻の部分でいきますと51ページのところで別表で整理しております。
0:48:40	51ページ。
0:48:46	51ページにいくと、第一行目で同じ方針が書かれていて、コンクリートによる構成と書いてあると。
0:48:56	ということで、
0:49:02	ここ、こっちのページで言うと、表題で括弧鉄筋コンクリート造と書いてあるので、まだその部分を説明してますということはわかってだから、
0:49:12	この方針について小久保コンクリートですよ、だから合致してますよと。
0:49:17	いう説明には理解はするものですね。

0:49:21	さっきのページに戻るとそんなかっこわけはなかったよと。
0:49:27	いうことがあり、前お話ししたところ言えば、書いてあるけど対応していないっていうことの際には説明を入れてくれというお話をしたと 思っていて、
0:49:45	戻って 426 ページに行けばさっきの 51 ページでしたっけ、そちらの表 で口座コンクリートの方は対応してますと。
0:49:54	飛ばしていただければいいですよって言ったつもりだったんですけど、
0:49:59	伝わってなかったってことですかね。
0:50:05	日本原燃清水はい。ちょっと私は前回のコメントに出資、とらえきれて なかったかもしれません。一応すいません整理としては、
0:50:17	7 ページ 23 ページのところ、それぞれの表への展開の仕切りをしたつ もりだったんですけども、
0:50:25	確かに、表のリンクですかね、もう踏まえて、どう書くべきかちょっと しっかり整理したいと思います。
0:50:33	はい。補足です。23 ページは 23 ページでいいんです。であれば、23 ペ ージで (5) 番括弧鋼材及びって書いてあるんだから、26 ページはそれ のようにちゃんと書いてもらわないとと。
0:50:49	ということ。
0:50:51	ですよ。
0:50:53	はい、日本原電、清水ですはいその通りでございますこちらの表のタイ トルのところ、ちゃんと仕切りがわかるようにさしていただきたいと 思います。はい。補足です。その上で一行目もちゃんと書いてくれと。
0:51:05	じゃないと、確認漏れが生じ得るんですよ。
0:51:10	慮って確かにこっち側で書いてあるからねなんていうのをいちいち考え てる。
0:51:17	よりは、書いてしまった方がいいとは思っていませんか。
0:51:23	はい。4 エネシミズです。はい。はいそういう点をしっかり配慮して、 記載を見直したいと思います。
0:51:31	はい。補足です。その次に、2 行目がー
0:51:34	配慮事項がバー3 行目は書いてある。
0:51:41	4 行目も書いてあるということですけどこれはどういう意図ですか。
0:51:47	はい。日本原燃清水です。こちらの考え方としましては、
0:51:52	左側の基本設計方針の午後 1 時、設計飛来物を防止するという、

0:52:00	こちらの設計も
0:52:03	あれだといいますか共通的な設計として、ちゃんと防護対象を確保、必要な厚さを持った太鼓。
0:52:09	衝突しない事業にしましょうという共通の部分を書いているので、
0:52:14	入る事項のアとして整理しておりました。
0:52:24	ふうん。
0:52:31	よくわからないのは、共通。
0:52:36	のというのは書かなくてもわかる。
0:52:40	で、共通のじゃないというものは、今日その設計方針の中で、どこの部分にどう読み込むものなのかっていうのを、
0:52:51	明確にしなくてもわかるということですか。
0:52:56	日本原燃清水です。
0:52:58	当資料見ただけではおっしゃる通りわかりにくいというのは理解しました。その部分はしっかり、
0:53:05	趣旨が伝わるように表のほうを整理して参りたいと思います。はい。コサクです。共通化共通か否かで分けてしまうとさっき言ったような説明なり設計のロジックといったところでの説明の仕方にそぐわないので、
0:53:20	ちゃんと内容で並べていただくと。そうすると、設計方針を分割していくことになるので、バーではわからなくなるから、設計方針そのままであっても、ちゃんと書いていただいて、
0:53:32	共通ですというなら共通だということを書いていただくということで、一つの例を示せば他のところで説明をしなくて済むと。
0:53:42	ということがわかるということなので、その旨しっかりと書いてください。
0:53:50	はい。井上シミズです。はい。その提案を単純にバーツと書くだけではなくて、
0:53:56	はい。伝わるように色彩の方見直したいと思います。
0:54:00	肺梗塞です。それによって3行目のところが、この場所でいいのか別の場所でやった方がいいのかっていうのがわかるようになると、
0:54:08	ということだと思います。で、その共通じゃないときには、何とかの場合はあるということを書き、暮らしていくんだっていう記載ルールになっているっていうふうに理解すればいいですか。
0:54:34	日本原燃清水はい。そのような形にしたいと思っております。

0:54:39	はいコサクです。一方で6行目はこれは共通ですね。
0:54:48	日本原燃た家でございます。すいません6番についてはすいません何とかの場合っていう書き方ちょっとすいませんできておりません。すいませんここは修正いたします。
0:54:56	はい。コサクです。そういったところ、
0:54:59	よく見ていくと、並び順なり、書き方なりというので見ればわかる書類になっていくと思いますのでよろしくをお願いします。
0:55:17	清町長にありがとうございます。
0:55:20	自分からちょっと最後にしようと思うんですけどさっきのあの話で、建屋には建屋を張っているっていうか建屋にとっていうでっかいモニターがいると思うんですけど、
0:55:30	林本とか横野隙間とかに空いた気がするんですけどあれは、建屋で防護っていうことでやってるのか、あれもラビリンス構造とかになるんですかね。
0:55:42	江藤香月の図でいうと、
0:55:51	46ページがわかりやすいから46ページに図がいて、
0:55:57	一応板野秋本にあるけどここは隙間が切っちゃいかん。
0:56:01	それとも建屋にとってなんて角度的にそういう頭に入らないんでしょうっていうのは、こういうす、こういうところの隙間っていうのは全部、
0:56:08	建物とかそういうやつで整理ってことですね、さっきの建物があるから大丈夫とか、
0:56:16	場所がどう伝えていいかですけどコサクです。今の46ページの14図の
0:56:26	図面が書いてある下側、これ横から見た図ですよ。
0:56:36	はい、井上です。その通りでございます。はい。コサクです。そうする、それで、
0:56:43	灰色というカーDOTで書かれてるのが防護盤っていいですよ。
0:56:51	はい。井上タナカですはい。その通りです。はい。古作です。伴伊能下2白い四角が書いてあって、その下に点々で、
0:57:03	線が書いてあるということですけど、この点点のところは建屋の天井面、
0:57:10	屋根、屋根面つった方がいいのかなっていいこといいですかね。

0:57:16	はい、上下タナカでございます。点々が屋根面で白い四角が脚部になります。以上です。はい。補足です。そうすると脚部のところには空隙があると。
0:57:29	ということだと思うんですけど。
0:57:31	防護盤ってというのは、下面にもついてるといことなのかそこは開口になってるといのかどっちでしょう。
0:57:42	日本原燃の家でございます。斜面については防護盤は取りついていない構造となっております。
0:57:49	はい。補足です。そうするとその空隙部分の設計の考え方っていうのはどうなってますか、どう説明ここでしてますかということです。
0:58:03	はい日本原燃のサカモリでございますここはですね直接衝突することがない空間ということで、
0:58:14	表現としましては 26 ページのですね、
0:58:19	ナンバー2ですね、2 の一番右の構造設計のところ、中段ぐらいから、
0:58:29	竜巻ぼ赤浅部はそうですね飛来物が直接衝突しない構造とするということに入るという認識でございます。以上です。
0:58:41	古作です。それが共通としてまとめすぎだということなんですよ。
0:58:46	添一番最初多分似たような話をしている、ラビリンス構造というところの説明が足りてるかみたいな話になって、
0:58:57	5 番でしたっけ、の話になってたっていうところなんですけど、こころ辺の関係性をちゃんと整理して、構成を整理をしてください。今みたいなところは、
0:59:09	ちゃんと説明してくれというところであって、
0:59:14	どういうところを飛来物の進入経路と考えるかというところでの、
0:59:21	ちゃんと潰し込んでいただきたいところなのでよろしくお願いします。
0:59:26	なのでバーじゃ全然配慮事項足りませんということです。
0:59:34	はい日本原燃のサカモリでございます隙間のところですねこういうところがきちんと設計上の配慮事項とマッチしてるかどうかをきちんと説明する必要があるというふうに認識しましたので、
0:59:46	図面の追加も含めてちょっと対応していきたいと思います以上です。
0:59:51	規制庁 2 人です今長南さんに言っていた通りなんですけども、今、最後に、その二重に図面も結局さっきのところとリンク個貼ってな

	いですし、どちらで一応排気塔の板野講師がここにリンクを張られてないところ、設計方針だったんで、
1:00:06	手数つけてるんであればそこんとこせめて認可されれば、ここも示してねってような気がしてくるので、
1:00:13	説明の方でよろしくお願いします。はい。
1:00:25	井関大谷です。自分が何か話しちゃったんですけど他の方向かお願いします。
1:00:33	規制庁青木です。ちょっと確認したいんですけども、
1:00:37	豊岡でしょうか。
1:00:41	まず 23 ページで飛来物数本ということで 1-2-1 と 1-2-2 という形で分けられて、これ大きく、
1:00:52	さっきの説明があった表、表 2 ですと 2526、それと 51 という形で分けられてると思ってますんで、
1:01:00	特に 1-2-1 の主排気塔周りの 5 番に関しては、これ木曽については、その応法盤の範疇に入るんですか。
1:01:15	うん。
1:01:20	はい。日本原燃カミタイラです。衛藤。
1:01:24	はい。1 グループで説明をしている、F O - B の方々ネットと同じ考えを持ってまして、主排気塔の飛来物防護板の中には木曽。
1:01:35	一部含んでおります。通年で言いますと、
1:01:40	30 ページに、
1:01:42	記載しております。
1:01:45	ですね、上の方が、横から見たというか、断面というか、
1:01:50	図になってるんですけども、
1:01:53	中央ブロックと、左右に東ブロック西ブロックと、三つの構造に分かれておりまして、中央は、既存の支配等の基礎を増設して、
1:02:05	いる基礎になります。
1:02:07	一方で東福西ブロックに関しては、もともと投資を取る基礎がありませんので、こちらには新設し、の基礎を、を追加しております。
1:02:17	それで 4B のネットと同じように
1:02:22	竜巻防護対策用の基礎が存在することになります。以上です。規制庁浜崎です。今の説明で飛来物防護盤として、白井木藤の場合には、基礎も含むと。

1:02:35	ということで理解をしました。で、
1:02:37	あとさっきの別紙の3のところでしたっけ。区分のところですね、各5番のところにこれ、基本的には機器設備、
1:02:49	という分類っていうふうに分かれているように思うんですけども、
1:02:53	さっきの読んでもそうなんですけど、基本的には構築物でA4Bの場合は区分したんですけども、
1:03:02	仕分けってどうなってるんですか。機器なんですか、或いは構築物なんですか。
1:03:23	あ、
1:03:24	日本原燃一色です。東京の原田さん、回答の方お願いします。
1:03:30	増えてますか。
1:03:31	三浦会長。
1:03:32	聞こえてますよ。
1:03:35	えっとです。
1:03:36	また以下工作物かっていうご質問の方ですけども、
1:03:42	これ一つ一つですね、真木。
1:03:47	建築主事の方にちょっと確認した上で、
1:03:51	工作物かどうか聞いてなくて機器に分類するか、建物構築物側の分類でいくのかどっちだって聞いているだけです。
1:04:00	はい、原田です。衛藤。
1:04:02	建物構築です。
1:04:07	2社で沢田さん理由も説明してもらわないと、結果だけを言っても困るので、
1:04:17	ノンって言ってる。
1:04:23	はい。日本原燃原田です。D
1:04:27	はですねちょっと主
1:04:28	にちょっと違う。
1:04:32	着替え。
1:04:33	炉心評価も含めて耐震設計の方針あるじゃないですか、どちらの方針でやっていいですか。
1:04:41	これ。
1:04:42	検討して分類してるじゃないですか。

1:04:48	リリースでしょうカミデですけど割と決定論的に、建物構築物に含めて って感じで、社会党だったり屋外の
1:04:59	さっきの飛来物防護ネット化とかこの辺はやはり機器ってのはって いうことだけなんで、
1:05:10	はい。日本原燃原です。今小峰さんにおっしゃっていただいた、
1:05:17	規制庁ハバサキです。すいません。もう1回まとめて整理して、古作で すけど、78 ページ、78 ページがいいのかどうかちょっとあれですけ ど、78 ページのリストで見ると、機種のところ5番については、
1:05:37	すべからく建物構築物としてますということになって、下側に行く と、冷却塔については熱交換器ということで機器扱いにしますと。
1:05:48	ということ。
1:05:50	で、まずそういう理解でいいですね。
1:05:54	それとも熱交換器も、
1:05:56	構造、構築物ですか。
1:06:00	日本原燃清水シミズです。
1:06:03	これ機器の商標整理するにあたって、すいません規制庁カミデ熱交換機 器で整理してます。
1:06:13	はい。コサクですなので、ここの書きぶりその仕分けは整理していて、 耐震上もそう扱っているというふうに私は理解をしていたんですけど。
1:06:22	まずはその理解でいて、冷却塔は結構もので、構築物っぽいと思うけ ど、機器に分類しても、評価としては、
1:06:37	しっかりと構築物的なその変形の度合いとかも含めて評価をしてい ると。
1:06:44	ということと理解をして、
1:06:48	います。
1:06:49	何か変な言い方ですけど、
1:06:52	はい。
1:06:53	はい。秋田青井です。今の
1:06:59	表現が先ほどの表を見ればそうなんですけれどもちょっとやはり、
1:07:05	その23 ページあたりに、そこはしっかり書いてもらえればというふう に思います。
1:07:12	あとですね規制庁は好きですけども、25 ページ、26 ページそれから さっきの51 ページ。

1:07:19	それ、これそれぞれの対象によって使い分けてるのかどうかわかんないんですけども、例えば 25 ページの計算書のところだと、飛来物防護盤加工はと。
1:07:30	本版、鉄骨造の云々、
1:07:34	ここは基礎を含めてですね。
1:07:36	これは低い基礎によって構成されるって書いてありますよね。
1:07:41	次の 26 ページ G の基本設計方針ではまた別の 2 章のところに、別の表記があるということで、これそれぞれ使い分けて書いてるっていうのはいいんですけども、
1:07:53	ちょっとさっきの鬼頭も、本に含むのか含まないのかとかですね、
1:08:02	例えば 25 ページの杭基礎になってますけれども、これ杭基礎だけでいいのかどうか、ちょっとそこら辺の
1:08:09	対象によって使い分けているのか或いは、衛藤。
1:08:13	書き損じてるのか、そこら辺がわからないので、やっぱり 23 ページにもうちょっとしっかり書いてもらったほうがいいというふうに思いますが、対応の可能ですか。
1:08:27	はい。日本原燃志水です。はい。23 ページなり、それ以降の表で、想像やのことがわかるように、記載の方書き込みたいと思います。
1:08:39	はい規制庁浜崎です私から以上です。
1:08:44	規制庁、上手です。協定 20、
1:08:49	5 ページのその耐震のところってどこまで元に発注した。
1:09:08	閉、日本原燃清水です。
1:09:12	荒さんご回答できますか。
1:09:16	はい。日本原電は、
1:09:26	すいませんコサクです。そういう姿勢だったら答えません。
1:09:31	原燃がヒアリングとして何をしたいのかっていうことに対応してこちらはヒアリングの準備をして、資料を見ていくということなので、そちらが見て欲しいことを言わないのであれば見ません。
1:09:45	以上です。
1:09:46	以上です。
1:09:49	柳下。
1:09:52	25 ページ目。
1:09:54	にご説明させていただきます。

1:09:58	やっぱりトップシェアコサクです。ごめんなさいカミデ君からでもいいんだけど、説明を求めているんじゃないで、
1:10:05	いつこの話をちゃんと整理をしたいんだっていう方針を聞いているということだと思いますけど神谷さんそういうことですよ。
1:10:13	はい。その通りです。
1:10:22	はい。
1:10:23	日本でハラル、
1:10:26	耐専関係、大分耐震関係につきましては、今回 25 ページ目、整理した内容で、
1:10:38	来、
1:10:38	大和の網羅といいますか、この
1:10:42	これ、
1:10:43	網羅性と代表性をちょっと意識してて、
1:10:49	大体御説明
1:10:55	規制庁甲斐です。まず聞いたのは、いつぐらいにこれの話を詰めたんですかっていう時、時期の話をしていて、昨日その資料を出して、今日ヒアリングですと、
1:11:08	いう時に、何かとりあえず前向きに資料出したら、網羅的にコメントもらえるんでしょって思ってるのは間違いない。
1:11:17	伊井は改めてもらいたいですけど、大丈夫ですか。
1:11:26	はい。すみません。
1:11:30	今おっしゃっていただいた認識は、
1:11:34	すみません。
1:11:36	古作です。なので、今の状況からするとヒアリングするレベルにないと、他の条文のヒアリングの時に並びを取るために枠を設けましたと。
1:11:47	いうだけだというふうに認識をしています。前も、耐震は耐震でヒアリングをした方がいいと言ってそちらもそうですねと合意したはずなので、
1:11:57	ちゃんとヒアリングをセットした上で、しかもこれ飛来物防護版としては、というふうに言われましたけど、一つ一つ耐震濃厚設計考慮を聞いていくというのは、

1:12:10	非常に意味のない話だと思ったので、耐震として全体を網羅するような形での設計方針を整理をして、その上でこの機器に当てはめて説明いただいた方がいいですねと。
1:12:23	いうことをお話したはずなんですけどそれも理解いただいてないようなんですけど。
1:12:27	改めて理解をしてヒアリングの準備、打診ということをされるということでもいいですか。
1:12:38	はい。ありがとうございます。荒田さんいいです。ユニシアでございます。はい。おっしゃっていただいていることは理解をしてただ展開できなかったこと申し訳ないです。全体見た上で確かに耐震のところは耐震としてはいえ、
1:12:53	完新続した話ができるネタの仕組みなり、我々としての説明方針或いは仕組みの方もた状態でまずはヒアリングだと思いますので、全体見た上で、タイミングなり、
1:13:05	表現をさせていただければと思います。以上です。
1:13:08	はい。補足です。一応、先行して行っておく等、
1:13:13	幾ら波及影響危機だとはいえですね、設計方針がバーツと。
1:13:20	一行しか書かれていない。配慮事項として特化したことしか書かれていないというのでは、とても先ほども言ったような説明ロジックになってないんじゃないかなと。
1:13:33	いうふうに思いますし、配慮事項と、その後ろの具体の設計、
1:13:40	構造設計について、ほぼオウム返しでしか書いていないと。
1:13:45	いうのもう本当にこれで説明が尽くされているのかという疑問は湧きません。ちょっと具体はまた、
1:13:54	ヒアリングの時に話をすればいいと思いますけど、なので
1:13:59	次回耐震としてこの表の網羅性なり妥当性というのを説明したいという時にはそういったところを踏まえて整理をした状態で話をするようにしてください。
1:14:14	はい、乳井西原でございますはい。まだ進行して説明するに足りる、情報をしっかりと福祉、説明いただける状況にした上でということで、
1:14:27	ヒアリングまた別途ご相談させていただきます。こちらとしてまず、
1:14:31	必要な情報を入れると、
1:14:35	いうふうに、それを耐震で説明するのに、

1:14:37	鸚鵡返しで書いてるようなこの2行で説明できるかとも確かに思えないので、しっかりと必要な情報を出して、まずは整理をしていきたいと思えます以上です。
1:14:54	規制庁カミデです。また改めてってことですけど、
1:14:58	担当の方は結構いい線いってるっていう認識でした。こちらとのギャップは今相当ある。
1:15:10	あります。なので、
1:15:11	どうしたらいいか今わかってないんじゃないかなと思うんですけど、その辺りもう浅香伊井だったりですね、っていうところでちゃん
1:15:21	性なんですかねみたいな話を、
1:15:26	枠として取ってますから有効に使ってください。今日のところで、これ以上込み細かいこと言ってもしょうがないかな。
1:15:37	しっかり整理して、
1:15:40	私の
1:15:45	はい、五味西浦でございますはい。
1:15:48	ありがとうございます。今お話しいただいたのも含めて、
1:15:56	変な方向でも行かないようにですねかつ必要な情報が入るように、お話をさせていただきながら段階的でも、必要な情報が入れるようにさせていただきたいと思えます。以上です。
1:16:09	規制庁コサクですちょっと蛇足にはなりますけど、建物構築物ということですし、耐震上の配慮っていうのは非常に大事なポイントなんだと思えますので、
1:16:21	その意識を持って整理をいただければと思えます。
1:16:26	念のためですけど、防具建物構築物っていうことで、建物の上に設置している先ほどのダクト等の
1:16:37	防護盤とかも建物構築物でいいですよ。
1:16:42	はい、弓削西田でございますはい。分類としてはそういう形になりますので。はい。建物構築物、建物を説明するときに、このAppは説明ではなくてですねちゃんと構築物としての構造設計なりの説明をしないとイケないと思えますので、
1:16:58	これまで、あとは、

1:17:01	支持学校ですかね、竜巻防護ネットに構造物としての説明をしたところを踏まえながら必要な情報を整理をさせていただきたいと思います。以上です。
1:17:12	はい。お願いします。それがおそらく、ハバサキの方が杭基礎の話をしたときに、こんな表現だけでいいのかという思いをしているところのポイントだと思いますので、
1:17:24	しかも、今回、文化通の基礎だと、というようなことですから配慮事項ってもっとあるんじゃないのというような気がしてます。まずは原燃の方で整理をしてから対応していければと思います。よろしくをお願いします。
1:17:42	はい。宮城西田でございます承知いたしました。
1:17:52	規制庁奥です。1点だけ伺いたいんですが、45 ページ目、外部火災のところ、今回、最終ラインというのを、
1:18:03	かつておられて、
1:18:08	おります。
1:18:09	いわゆる聞こえております。
1:18:12	ページが、
1:18:14	45 ページ目、白井じゃないかな。
1:18:18	小外周ラインっていうのは先ほどハバサキとの議論であった基礎を表現して、
1:18:27	はい。日本原燃の家でございます。耐火塗装の被覆でどこに火炎を置かっていうところを設定する時に建屋の外殻がそのまま出ていけばそこに、
1:18:39	あるんですけどもそれ以外に気相部があれば土岐蘇武の梁に走って十勝に対して、
1:18:45	その部分に火炎の火炎中の端っこが来るというような想定をしております。それを線で結ぶと、今ここで図示している外周ラインっていう形の形になるという整理をさせていただきます。以上です。
1:19:00	はい。会長から、わかりました。ただ、
1:19:12	下の図を見ると、グラウンドレベル
1:19:18	あれ、
1:19:22	外貨
1:19:25	用。

1:19:27	開く線で結んでいるのか。
1:19:30	その下にあるものも、
1:19:32	この切断というふうに、
1:19:34	あるのかそこはどっちなんですか。
1:19:36	日本原燃田仲でございます。下にいるものは外殻ラインとして見てないので確かにこの図下の基礎の部分の図はいらぬものとなります。以上です。
1:19:46	はい。規制庁甲斐です。わかりました。じゃあ、あとは離隔距離表、
1:19:49	この兼ね合い等で、
1:19:52	相場外部火災の処分の方で確認させていただきますが、今言ったような観点は、
1:20:00	追加するように、
1:20:02	以上です。
1:20:04	はい。日本原燃田仲です。はい、了解いたしました。
1:20:07	規制庁コサクですけど今の話ワー、
1:20:13	火災の設定をどうするかといったところの設定の考え方ということで非常に、
1:20:21	ポイントになる。
1:20:23	項目という認識。
1:20:28	受けとめたんですけど、
1:20:32	等、
1:20:34	20、
1:20:37	8 ページ、どうするつもりでしょうか。
1:20:54	日本原燃田仲でございます。今先ほどの議論させていただいた内容、今のこの 28 の外貨の構造設計の中に
1:21:06	亜鉛の会をどうやっておくのかっていった内容を追記しようと今考えておりました。以上です。
1:21:15	はい、古作です図で言うと 1 ページ。
1:21:19	2 ですべてを説明するってことなので、呼び込み番号は一つでいいということではあると思うんですけど、着眼点は、そう言ってみたら先ほどの説明シナリオ、

1:21:30	設計、ロジックといったところからもう何段階かあるはずで、それをちゃんとブレイクして書いていただいているということかと思えますけどよろしいですかね。
1:21:46	日本原燃田仲です。はい、了解いたしました。
1:21:49	はい。コサクですよろしくお願いします。
1:21:59	志水規制庁側から。規制庁の館です津崎委員そびれてしまったんですけど、本日、写真1杯
1:22:09	49 ページから 49 ページでつけていただいたりしたと思うんですけど、
1:22:13	以前からお伝えしてるんですけど、写真つけるところ Lower 割とつけていただいた方が理解が進むところが、特に竜巻系は多いと思っていて、
1:22:22	図で示していただいてもいいんですけど、それで示そうとする等、いろんなパターンの図、いろんな方向から娘とかつけなきゃいけない部分も写真1枚目だってあれば、よりイメージが進むのってのはいると思ってんですけどこれ、写真つけづらいからつけてないっていうよりはまだ用意できてないってことなんでしたっけ。
1:22:42	はい。日本原燃田仲でございます。今までちょっと冬場で江藤板井者がいたものが雪でちゃんととれないとかそういうところがあったんでちゃんと準備できてないっていうところで、
1:22:54	役務をそろそろ遂げてきたっていうところもありますのでこれから準備しようとは思っています。以上です。
1:23:00	規制庁田井です。
1:23:02	うち、現地行った時に気になる場所があったってやつも写真で先に見せてもらえばその辺に気づけたりもする気はするので、つくれるものをつけるように今後準備いただければと思います。自分からは以上です。
1:23:16	規制庁コサクです。大分竜巻のところで話をしましたけど、最後外部火災の話をしてということで、火山のところをお話してないんですが、
1:23:29	話をする、構造として話をしなきゃっていうことでもないんですけど、構造設計のところ図版が書いてないんですけどこの辺りどうするつもりですか。
1:23:54	弓削西原でございます。

1:23:57	まず正直今今回作った時にはですね火山で構造を決めてるわけではないということもあって図を直接載せてませんでした、例えばかなりの時に構造を考えている評価のポイントになるかというところは、
1:24:12	少なくとも今回の共通の中で構造設備のポイントとしてはあると思いますので、そういうことがわかる図をつけさせていただくということかと思えますので、
1:24:24	火砕物を受けとめるようなメインにするのかとかですね、どういうところが荷重学会とって構造として考えなきゃいけないのかというところがわかるような図とあわせて説明させていただければと思います以上です。
1:24:37	はい、古作ですこれだけのためにというわけでもないですけど、関連するところに合わせて書くだとか、いろいろとありようがあると思いますので竜巻のところで、
1:24:49	図版が書いてなかったようなやつに対応とともに、こういうことも含めて対応をお願いします。以上です。
1:25:01	今日新設国家状況に関して、規制庁側から選任ございますでしょうか。
1:25:10	よろしければ、原燃側から振り返り、お願いします。
1:25:17	はい、日本原燃清水です。
1:25:20	まずは、
1:25:24	15 ページ以降の、まずは構造設計の整理表ですね、全体としては、どういうロジックでこの構造を、その設計方針から展開してご説明するのかというその、
1:25:37	考え方をしっかり整理した上で、順番であったり関係性というのがわかるように、
1:25:41	全般的に見直しの方させていただきたいと思っております。
1:25:47	表の方でいきますと、藤葛西のところにつきましては、
1:25:53	アウトラインの考え方なり、しっかりもう 1 組であったり火山のところは、
1:25:59	熊木の図を流用するなりして、報道を説明する場をしっかりと添付させていただきたいと、いうふうに考えております。
1:26:07	あと、地震の部分につきましては、しっかりご説明するできるレベルに、今一度、中で精査した上で、

1:26:16	ご議論させていただきたいポイントをしっかり整理した上でヒアリング日程の方、申し込みさせていただきたいと思っております。
1:26:27	あとは全般的に、概要図のところですけども、写真等もまだ準備できていないところは、これから準備してしっかりつけさせていただきたいと。
1:26:39	いうふうに考えております。
1:26:41	別紙2 関係としては多くとしてはこのような感じではないと別紙2の8ですね、施設共通基本設計方針にか関わる構造設計のところについても、
1:26:53	しっかり構造概要図、概要図の方しっかり用いてご説明の方できるようにしたいと思います。
1:26:59	続いて別紙3につきましては、
1:27:03	まずは、前回の会合でお示した、お示しするにあたって、左側の項目等の並びを考慮して、
1:27:15	整理してたんですけどその点の考慮が足りてませんでしたので、別紙3のフォーマットを今一度考えたいというのと、
1:27:22	構造設計を説明しないものの、スクリーニングアウトの考え方であったり、基本設計方針の網羅性の部分っていうのは、考え方を整理いたしまして、
1:27:32	別途ご説明させていただきたいと、いうふうに考えて、
1:27:38	おります。
1:27:42	はい。次、スケジュール的なところですけど、
1:27:47	今の資産の部分と、
1:27:52	竜巻の飛来物防護板の別紙2のところ、
1:27:56	につきましては、
1:27:58	まずは、来週火曜日までに載せれるようにまずは社内作業の方を進めたいと思います。
1:28:05	ICのところにつきましてはちょっといま1度途中で、関係者でしっかり資料を精査した上で、スケジュールの方をご相談さ、お示ししたいと思っております。以上です。
1:28:21	はい。今の説明につきまして、規制庁側からコメントございますでしょうか。
1:28:28	規制庁算です。アイシン最後お話してましたけど、多分

1:28:34	やるべきは資料の精査じゃなくて、考え方の制定、どういう単位でどういうことを説明していく。
1:28:43	ていうことをまず関係者で話をした上で、少し方向性が合ってるか。
1:28:50	話をしてみると、
1:28:52	いうことなんじゃないかな。
1:28:56	はい。日本原燃志水です。失礼しましたはい。今神谷さんおっしゃっていただいた内容を社内で検討して、
1:29:03	説明させていただきたいと思います。
1:29:07	はい、規制庁。
1:29:09	で、ちょっとまた別みたいで、限定もないんですけど。
1:29:14	アイシンで、1ポツの話としてですね。
1:29:20	へえ。
1:29:21	整理っていった意味で来週ヒアリングある。
1:29:25	火曜日で、基本的には道道のところを、
1:29:32	話を、まずは詳しく聞いていくのかなっていう感じでスケジューリングされてるんですけど。
1:29:39	その堂々っていうのはこの共通注2として、何か説明があるのか。
1:29:47	それはそれでみたいな感じなのかちょっと全体像としてどういうふうに最終資料の最終形が、ちょっとイメージしにくかつ
1:29:56	けど、何かイメージで、
1:30:00	はい、乳井西田でございます。
1:30:04	委員会からの変更点、労働含め出ささせていただいてさらに耐震建物01ですかねそこでコア製であったり、改造を系について、
1:30:16	こういうところのポイントを押さえますよという説明をしながらかつ個別の補足を振ったりをしています。その他は確か共通重みというのもキーワードを入れてると思うんですが、
1:30:26	変更点としてのみであるか、それが構造との関係でどう関係するかっていう、網羅的にそれを抽出するという観点は共通順位でやらせていただきます。
1:30:38	それが、講座と直接紐づくんではなくて評価の方法であったり評価内容に秘密込みであれば、耐震側の個別補足の中で見解を、基金から変える変更点とかの個別補足でやらせていただきますし、
1:30:54	公表そのものに対しての、大瀬

1:30:57	これがあるような融資であれば、やはり共通の中でやらせていただくと、いうことだと思っております。ただ、歯切れが悪いのは労働に対する変更点というふうに今、全部上げ切れてるかっていうと若干ながら、
1:31:11	新宅委員 01 とか道野君からの変更点いろいろコメントをして網羅性、網羅的に確認ということで書かせていただきながらも、
1:31:22	私もちょっと不安がありましてあれで全部買ってところがですね、そこをちゃんとまず出した上で共通情報とコラボするのかなということであれば、みたいな話をさせていただくのかなと思ってました。以上です。
1:31:36	はい。規制庁神戸ですとりあえず、主幹さんには、疑問点というか
1:31:41	何かをもって、
1:31:44	ただ認識としては理解いただいたようなので、また整理がされ、
1:31:51	変更点も、
1:31:52	あれなんですよね構造、実際労働は設計変更してないんでなかなかこう、どこに出てるのか難しいところであり、
1:32:03	おっきくとらえるとビーチですから、設計条件変更になってで、何が変わってるかというところももう S s が変わってるし、
1:32:14	もうちょっと言っちゃうと、もともとはエスワン設計なのかな、でいうと、S s 相当っていう意味ではそういう、
1:32:21	ことで改めて意識構造を説明しなきゃみたいな整理にもなるかもしれないなど。
1:32:27	思ってますのでその辺は、来週も含めてまた追々話しがで、
1:32:34	はい、三浦でございます。ありがとうございます。はい。私が疑問っていうか社内にも投げかけてポイントはそこでして、合同 A 君から考えたらちゃんと 1 から説明しなきゃいけないような、
1:32:46	いうふうに該当するんじゃないのかっていうのが私の
1:32:51	事務的な意見ですけどそうではないという意見もあってですね、その辺が変わってないかなと思ってました。そこは、これの耐震建物 01 とか切り換えの変更点であったり大断面さん選定ですよ。
1:33:06	あと補足説明資料の説明の中でいろいろとご議論させていただければと思います。以上です。
1:33:16	その他規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:33:21	よろしいでしょうか。

1:33:23	それでは本日のヒアリングとしては以上とさせていただきます原燃から何かございますでしょうか。
1:33:30	はい。表現で特段ございません。
1:33:33	はい。それではヒアリングはこれで終了とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:33:38	ありがとうございました。